

2015

平成 27 年度 教育委員会点検・評価報告書
【平成 26 年度事業】

平成 28 年 1 月
西予市教育委員会

目次

はじめに	1
I 昨年度学識経験者の意見への対応状況	2
II 西予市教育振興基本計画について	5
III 西予市教育委員会の点検・評価について	7
IV 点検・評価結果	
IV-1 教育委員会の活動状況	9
1 委員選任状況	9
2 会議開催状況	9
3 委員会議以外の活動状況	12
4 主な活動実績一覧	12
IV-2 施策別の点検・評価結果	16
1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧	16
2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果	18
(1) 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	
①社会総がかりで取り組む教育の推進	18
②確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	20
③特別支援教育、人権・同和教育の推進	24
④安全・安心な学校づくりの推進	25
⑤教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	26
⑥幼稚園教育の充実	27
⑦よりよい教育環境づくりの実現	29
(2) ライフステージに応じた社会教育の推進	
①生涯学習の推進	34
②公民館活動の推進	35
③心豊かでたくましい青少年の育成	42
④人権・同和教育の推進	46
⑤図書館活動の充実	48
(3) 人生を豊かにする文化芸術の振興	
①文化財の保護と活用	49
②文化の振興	55
③文化活動の環境と基盤の整備	60
④西予市の特色を生かした文化施策の推進	64
(4) 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進	
①スポーツの振興	66
②えひめ国体の推進	69
V 学識経験者の意見（今後の取組の方向性）	71
VI 参考資料	
1 平成26年度一般会計歳出決算における教育予算の実施状況	79

はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和 31 年法律第 162 号）の一部改正により、平成 20 年 4 月から「教育委員会の責任体制の明確化」の方策として、効果的な教育行政に資するとともに住民への説明責任を果たすため、教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価を行うことが義務付けられました。

また、いじめ問題を契機とした教育委員会の責任所在の不明確さ、危機管理能力の低さなどの課題も指摘されたことから、国においては教育委員会の存続を含めた制度の見直しの議論がなされたところです。その結果、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、地方教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るための教育委員会制度改革が「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成 27 年 4 月から施行されました。

一方、平成 18 年に改正された教育基本法では、知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間、公共の精神を尊び、国家・社会の形成に主体的に参画する国民、わが国の伝統文化を基礎として国際社会を生きる日本人の育成を目指すことが明確にされており、これを踏まえた教育施策の展開も求められております。これを受けて、西予市教育委員会では、学校教育及び社会教育の一層の充実を図るため、市総合計画と整合性を図りながら、今後目指すべき教育の基本的方向性や重点的に取り組むべき教育施策を明らかにした「西予市教育振興基本計画」を平成 26 年 3 月に策定しました。

事務の管理及び執行の状況の点検及び評価にあたっては、これまで西予市総合計画や西予市教育基本方針に位置付けた施策など重点的に取り組んだ主要な項目を取り上げて点検・評価の対象としてきましたが、この計画の策定に合わせて、点検・評価の対象とする項目を見直しました。本計画は平成 26 年度から 5 年間の計画ですが、今後の教育施策推進に活用するため、今回の点検・評価からこの計画の項目に合わせることにしました。

本報告書では、今後のさらなる効果的な教育行政の推進に資するために、学識経験者のご意見等をいただきながら、平成 26 年度の教育委員会の活動状況及び教育委員会が教育振興基本計画に基づく取組施策について、点検・評価した結果を報告書としてまとめました。

平成 28 年 1 月

西予市教育委員会

I 昨年度学識経験者の意見への対応状況

平成 26 年度（25 年度事業）の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価における学識経験者からいただいた意見等について、平成 26 年度の西予市教育委員会の対応状況は以下のとおりです。

評価・意見	対応状況 (平成 26 年度の取組)
<p>○学校教育支援体制の充実について</p> <p>①情報教育振興事業について、情報教育アシスタントによる各教職員への I C T 技術指導は大変効果があり評価できる。引き続き事業が継続されるよう努められたい。</p> <p>②生活支援員設置事業について、学校現場では障がいのある児童・生徒が増えている現状があり、その支援に対して支援員の配置がなされていることに評価できる。毎年、生活支援員の増員を求める声が多い状況であり、引き続き配置されるよう努められたい。また、学力向上のための学力（学習）支援員の配置についても配慮いただきたい。</p> <p>・教育支援については、多岐にわたり配慮がなされており、評価できる。今後とも、教育活動に必要な人的配置等、学習支援体制・英語教育・I C T 活用など更なる充実に努められたい。</p>	<p>概ね順調</p> <p>①今後は、普通教室等へのタブレット導入等を視野に入れていることから、その購入にあわせて情報教育アシスタント業務ができるよう努める。</p> <p>【担当：学校教育課】</p> <p>②生活支援員数については年々支援の必要な児童・生徒が増え、平成 26 年度は 8 名増員し対応した。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
<p>○学校再編の推進について</p> <p>①児童生徒がよりよい環境で教育が受けることができるよう推進されており、三瓶地区の統合が終了し評価できる。他地区で引き続き理解を深めていただくため保護者、地域住民、P T A 等に充分、説明・協議に努められたい。</p>	<p>概ね順調</p> <p>①明浜地区・野村地区は、平成 27 年 4 月 1 日開校に向け、共に関係者の皆さんと通学方法や校歌・校訓など諸課題の協議・調整を進めた。</p> <p>平成 26 年 9 月に、城川地区 4 校の保護者並びに地域の皆さんから再編への理解を得て、城川地区小学校再編推進委員会を設立することができた。平成 28 年 4 月 1 日開校向け、子どもたちのより良い教育環境が整えられるよう、様々な諸課題の協議・調整を進めている。</p> <p>【担当：教育総務課】</p>
<p>○生涯学習の充実について</p> <p>・現体制での学習機会の提供や団体活動支援等については、一定の評価ができる。</p> <p>①市民一人ひとりが、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、今後も継続的な学習機会の提供や活動支援に努められたい。また、団体の自主運営を促し、自立した組織となるよう一層努められたい。</p>	<p>概ね順調</p> <p>①市民の声を聞きながらニーズのある学習内容を把握し、豊かな暮らしに繋がる生涯学習活動に取り組んでいる。団体の自主運営と管理を促進し、可能な団体への返還を行っている。</p> <p>【担当：生涯学習課】</p>

<p>○結婚推進委員会の取組について</p>	<p>順調</p>
<p>①結婚推進委員会の取組により、成婚実績が4組あった。26年度には、2組予定である。 委員会の取組を評価できる。引き続き熱心な取組を期待したい。</p>	<p>①53人の委員による取組は熱心であり様々な活動を展開し平成26年度の成婚数は2組となった。 【担当：生涯学習課】</p>
<p>○公民館事業の充実について</p>	<p>概ね順調</p>
<p>・各地域における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれの特色ある取組を評価できる。 ①地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的参画など、行政部局と連携して、住民と行政が協働して進める「地域づくり交付金事業」の活用や支援の充実に努められたい。 ②小学校再編も進み、地域の活動拠点である公民館の活動の推進と充実を引き続き努められたい。</p>	<p>①地域の実情に合った公民館運営を行うため、公民館運営審議会などを通じて市民と行政が協力しながら、地域づくり活動や公民館活動に取組んだ。 【担当：生涯学習課】 ②学校再編に伴い、公民館は地域の拠点として注目されているため、公民館活動の内容を精査し、充実した取組を行っている。 【担当：生涯学習課】</p>
<p>○文化遺産の保存・活用について</p>	<p>順調</p>
<p>①文化遺産の保存・活用、さらに文化財保護思想の普及・啓発について、今後とも後世に残す意味でも重要であることから引き続き努力されたい。</p>	<p>①近年、文化財保護への関心は高まっている。しかし市指定文化財の指定基準が不統一で、今後の保存業務に不都合を来すことから、平成26年度から専門家による見直し調査を行っているところである。これまでに新たな候補物件が見つかるなどの成果があがっている。また近代化遺産マップ(明浜編)や埋蔵文化財のロビー展示、駅からウォークなどのイベント、石斧づくりなどの体験事業を進めた。 【担当：文化体育振興課】</p>
<p>○えひめ国体開催に向けた取組について</p>	<p>順調</p>
<p>①女子ソフトボール競技会場の施設整備については、計画的な推進に努められたい。また、相撲競技では強化支援等がなされており評価できる。競技役員育成など引き続き支援に努められたい。 ②平成29年開催のえひめ国体は西予市挙げての取組となるため、市民と連携し万全の体制で望んでいただきたい。</p>	<p>①ソフトボール競技会場である西予市宇和運動公園・御旅公園(宇和球場)の整備に着手した。完成は、西予市宇和運動公園については、平成27年3月、御旅公園(宇和球場)については平成28年6月を予定している。また、審判及び記録員の育成については、それぞれの競技団体に委託し、ソフトボール競技では、資格取得に必要な講習会等に参加し、試験により合格した審判員5人(第1種審判員)記録員5人(第1種記録員4人・第2種記録員1人)計10人が資格を取得した。相撲競技では、公認審判員に必要な段位を、6人(5段取得者1人・4段取得者4人・3段取得者1人)が取得し、2競技合わせて、16人が資格を</p>

	<p>取得した。 【担当：文化体育振興課】 ②国体うちわ、クリアファイル、ポケットティッシュなどの国体グッズを作成し、市内のイベントなどで配布した。また、国体横断幕を市内の主要な体育館5か所に設置し、国体開催の周知を図るとともに市民の機運の醸成に努めた。 【担当：文化体育振興課】</p>
<p>○育英会奨学資金貸付事業について ①毎年度、貸付者が減少している現状がある。この制度は、西予市出身で家庭の経済的理由により就学が困難な者に対して奨学資金を貸付するもので、進学を希望する学生・生徒にとって有効な制度であるべきである。対象者にとって魅力的な制度となるように制度の見直しなど努められたい。</p>	<p>やや遅れている ①他市の奨学資金の状況などを調査し、平成 27 年度中に希望者が増加する制度へ見直しが行えるよう協議を行った。 【担当：教育総務課】</p>

II 西予市教育振興基本計画について

1 基本理念

『ふるさとの未来へつなぐ人づくり』

本市の特性を生かし、西予市を誇りに感じ、「ふるさとの未来」を思い、次代を担う「人づくり」を推進します。

2 基本目標

「夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ」

「生きる力」の育成を基盤とした学校教育を推進するとともに、学校や家庭、地域が連携・協力し、市の特性を生かした特色ある学校づくりを進めます。また、ふるさとを愛する心を育て、夢多き未来につながる教育に努めます。

「ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと」

市民が生涯現役として、ふるさと西予の歴史・文化やスポーツに親しみ、積極的にまちづくりへ参画できるように、生涯学習の場を充実させて活躍できる場の提供に努めます。

3 重点目標

「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

学校・家庭・地域の連携・協力により、幼児・児童・生徒に、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力をバランスよく身に付けさせ、社会の一員としてたくましく生きていく力を育成します。

ライフステージに応じた社会教育の推進

少子化・高齢化・核家族化が一般化している現代において、家庭・地域・行政が役割を明確にし、市民一人ひとりが自発的に学習し学んだ成果を社会に還元できる社会（地域）づくりの向上を目指します。

人生を豊かにする文化芸術の振興

市民共有の貴重な財産である歴史、文化、文化財などについて、調査・研究のうえ保護、活用し、市民が文化財に親しむ機会を創出します。また、市民の芸術文化活動を支援し、鑑賞の機会を提供します。

健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

子どもから高齢者まで、年齢、性別、健常者・障がい者の区別なく、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しみ、楽しめるような*生涯スポーツ社会の実現を目指します。

4 施策の体系

○基本目標：夢をはぐくみ 未来へつなぐ 西予っこ

重点目標	施策	事務事業等
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 社会総がかりで取り組む教育の推進	①特色ある学校づくりの推進 ②学校評価の充実と活用
	(2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	①確かな学力の育成 ②豊かな心の育成 ③健やかな体の育成
	(3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進	①個に応じた支援の充実 ②いじめや差別を許さない集団づくり
	(4) 安全・安心な学校づくりの推進	①実効性のある防災教育の推進 ②学校や地域の安全確保の推進
	(5) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	①市所属部会、市教育研究大会の充実 ②研修活動の充実
	(6) 幼稚園教育の充実	①充実した幼児教育の提供 ②子育て支援の充実
	(7) よりよい教育環境づくりの実現	①学校・公立幼稚園の再編推進 ②校舎の改築及びICT設備の整備等 ③小中一貫教育の検討

○基本目標：ふるさとを愛し 生涯現役 西予びと

重点目標	施策	事務事業等
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	①生涯を通じた多様な学習機会の提供
	(2) 公民館活動の推進	①地域と連携した公民館活動の充実 ②社会教育関係団体の育成と連携
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	①青少年健全育成体制の強化 ②家庭、地域の教育力の向上 ③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進
	(4) 人権・同和教育の推進	①学習機会の拡充と啓発活動の充実 ②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成 ③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実
	(5) 図書館活動の充実	①読書活動の普及啓発 ②サービス充実による読書人口の増加
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	①文化財・文化遺産の保護と活用 ②文化財の継承と次世代を担う人材の育成
	(2) 文化の振興	①文化の継承、次世代を担う人材の育成 ②芸術文化、生活文化の振興
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	①文化施設の整備・充実
	(4) 西予市の特色を生かした文化施策の推進	①古代ロマンの里構想の推進 ②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進 ③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進	(1) スポーツの振興	①生涯スポーツの普及と活動支援 ②スポーツ施設の整備・充実
	(2) えひめ国体の推進	①競技スポーツの振興と人材育成 ②関係施設の整備・充実

Ⅲ 西予市教育委員会の点検・評価について

1 点検・評価の目的

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たすことを目的としています。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄） （教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象、実施期間

(1) 対象

- ・教育委員会の活動状況
- ・教育委員会の取組施策

(2) 実施期間

平成27年9月～11月

3 点検・評価の方法

(1) 自己点検・評価

教育委員会主管課が西予市教育振興基本計画に基づく取組を自己点検・評価します。

(2) 学識経験者の意見の活用

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項の規定による有識者の知見の活用については、教育委員会が行った点検・評価結果について、選任しました学識経験者3名から評価会議で意見を伺います。

氏名	団体・役職名
大野 哲寛	元小学校長
兵頭 三樹	元市役所職員
大塚 晶司	前社会教育委員長

4 自己点検・評価の構成

(1) 施策の対象、評価（A表）

施策の対象は、18の施策毎に施策を構成する事務事業等の実績及び成果等を分析し、取組の成果（進行状況）を下記の区分により総合的に評価します。

(表 1)

順調	調：施策の成果が十分にあり、進行状況が順調であると判断されるもの
概ね順調	調：施策の成果がある程度あり、進行状況が概ね順調であると判断されるもの
やや遅れている	調：施策の成果があまりなく、進行状況がやや遅れていると判断されるもの
遅れている	調：施策に成果がなく、進行状況が遅れていると判断されるもの

※担当課が2課以上ある場合の評価

評価及び評価に対する分析について協議し、評価を一本化しています。

(2) 主な取組事業の点検・評価 (B表)

施策を構成している主な取組事業の内容、実績、評価と今後の課題・対応方向等について分析しています。

(記入項目)

事務事業等	課題解決に設定した具体的な方策。※別紙施策の体系を参照
成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組の推進が効果的となるよう設定した指標
取組事業	取組を推進するための事業名
事業内容	取組む事業の内容
実績	実施した事業の実績等
評価と今後の課題・対応方向	実施した事業の評価と今後の事業を進める上での課題と、その改善点や対応の方向
決算額 (千円)	平成 26 年度の決算額 (事業の総額) ※千円単位に四捨五入

(3) 成果指標の評価・分析 (C表)

成果指標の評価は、18の施策の中で設定した14の成果指標の達成状況を下記の区分により評価し分析しています。

(表 2)

A：達成に向けて予定どおり進行している
B：達成に向けて概ね予定どおり進行している
C：達成に向けて予定よりやや遅れている
D：達成に向けて予定より遅れている

(記入項目)

成果指標	西予市教育振興基本計画において、各取組が効果的となるよう設定した指標名
達成状況	表 2 の中から、成果指標の達成状況の評価項目を選択
分析・評価	平成 26 年度の成果指標値について、基準値との比較や社会情勢等を考慮した分析・評価
基準値	西予市教育振興基本計画において、基準とした平成 24 年度の値
目標値	西予市教育振興基本計画において、目標とする平成 30 年度の値
実績値	西予市教育振興基本計画において、平成 26 年度時点における値
増減	設定した指標の実績値と基準値の差

IV 点検・評価結果

IV-1 教育委員会の活動状況

1 委員選任状況

(平成 26 年 6 月 10 日現在)

職	氏名	性別	職業	委員任期	委員通算 在任年数	役職任期	常勤・非常勤の別
委員長	堀田 利知	男	無職	H23.6.10 H27.6.9	3	H26.6.10 ～ H27.6.9	非常勤
職務代理者 委員長	熊谷 マユミ	女	会社員	H24.6.10 H28.6.9	2	H26.6.10 ～ H27.6.9	非常勤
委員	平岡 長治	男	無職	H25.6.10 H29.6.9	1		非常勤
委員	上甲 和博	男	無職	H26.6.10 H30.6.9	0		非常勤
教育長 委員(兼)	宇都宮 又重	男	地方公務員	H24.6.10 H28.6.9	2	H24.6.10 ～ H28.6.9	常勤

※教育委員及び教育長の任期は 4 年間

※教育委員長及び教育委員長職務代理者の任期は 1 年

2 会議開催状況

①会議開催数・付議案件数

定例会	12 回
臨時会	3 回
案件	75 件

②会議に付された案件（定例会・臨時会）

月日	案件名
4月23日 定例会	西予市三瓶文化会館運営委員の委嘱について
	西予市スポーツ推進委員の委嘱について
	西予市文化財保護審議会委員の委嘱について
	西予市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定 について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱について
	西予市図書館協議会委員の任命について
	西予市青少年補導センター補導員の委嘱について
	第72回国民体育大会施設整備に伴う用地取得について
	西予市公民館条例の一部を改正する条例制定について
5月26日 定例会	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
	西予市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について
	西予市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱について
	西予市公民館分館長の任命について
6月10日 臨時会	西予市教育委員会委員長の選挙について
	西予市教育委員会委員長職務代理者の選挙について
6月25日 定例会	西予市社会教育委員の委嘱について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱について
	西予市明浜歴史民俗資料館運営委員会委員の委嘱について
	西予市ギャラリーしろかわ運営審議会委員の委嘱について
7月2日 臨時会	西予市社会体育功労者補助金（報償金）交付要綱の一部を改正する告示制定について
	県道大規模崩落に伴う河成小学校の教諭・児童及び河成幼稚園の教諭、園児の大和田小学校及び大和田幼稚園への一時移動について
7月22日 定例会	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
	西予市特別支援教育就学奨励費支給要綱の一部を改正する告示の制定について
	西予市幼稚園再編推進委員会設置要綱の制定について
	西予市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
8月21日 定例会	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
	平成27年度使用小学校教科用図書採択について
	西予市就学指導委員会規則の一部を改正する規則の制定について
	西予市立学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例制定について
	宇和学校給食センター建設に伴う用地取得について
	西予市放課後子どもプラン運営委員の委嘱、任命について
	せいよ家庭教育・子育て応援グループ員の委嘱、任命について
9月18日 定例会	西予市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
	西予市放課後子どもプラン運営委員の委嘱について

	西予市公民館分館の集会所移行推進補助金交付要綱の制定について
10月23日 定例会	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
11月27日 定例会	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
	西予市公民館長の任命について
	西予市図書館条例の一部を改正する条例制定について
	西予市民図書館システム選定委員会設置要綱を廃止する告示について
12月22日 定例会	西予市立学校の教育力向上推進委員会設置要綱の制定について
	平成26年度（平成25年度対象）西予市教育委員会点検・評価報告書の承認について
1月27日 定例会	西予市スクールバス運行業務委託者選定委員会設置要綱の制定について
	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
2月25日 定例会	西予市野村町地域青少年健全育成基金条例の廃止について
	平成26年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例制定について
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整備に関する規則制定について
	西予市教職員宿舎条例の一部を改正する条例制定について
	西予市立学校給食センター及び学校給食調理場条例の一部を改正する条例制定について
	西予市社会体育施設条例の一部を改正する条例制定について
	西予市三瓶文化会館条例の一部を改正する条例制定について
	西予市宇和文化の里条例の一部を改正する条例制定について
	西予市立幼稚園における保育料等徴収条例の一部を改正する条例制定について
西予市立学校の教育の情報化検討委員会設置に係る訓令制定について	
3月10日 臨時会	西予市児童生徒表彰の認定について
	西予市教育振興基本計画の認定について
	西予市スクールバス使用規程を廃止する訓令制定について
	西予市スクールバス運行及び利用に関する規則制定について
3月27日 定例会	平成27年度西予市要保護・準要保護児童生徒の認定について
	西予市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則制定について
	西予市スクールバスの運行及び利用に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市公立学校管理規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立幼稚園園則の全部を改正する規則制定について
	西予市立幼稚園保育料等の減免に関する規則の一部を改正する規則制定について
	西予市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部を改正する告示制定について

3月27日 定例会	西予市私立幼稚園運営費補助金交付要綱を廃止する訓令制定について
	西予市私立幼稚園運営費補助金交付要綱制定について
	西予市公民館長の任命について
	西予市公民館運営審議会委員の委嘱について
	西予市青少年補導センター補導員の委嘱について
	西予市図書館条例施行規則の一部を改正する規則制定について

③教育委員会議の公開

西予市教育委員会傍聴規則の規定に基づき、会議は教育委員長の許可を得て傍聴できます。

・平成26年度 傍聴人 1人

3 委員会議以外の活動状況

教育委員は、教育委員会議への出席以外に、学校訪問、小学校再編計画の地域別推進委員会など各種行事等へ参加しました。（詳細は主な活動実績一覧を参照）

①市議会関係・・・定例会（4回）・臨時会（3回）

②学校訪問・・・小学校（23校）・中学校（5校）

③各種行事・大会（109回）

④その他の行事（37回）

4 主な活動実績一覧

月	教育委員会関係	市議会関係	各種行事・大会	学校訪問	その他
4	定例（1）		<ul style="list-style-type: none"> ・市新任式 ・市内小学校入学式 ・市内中学校入学式 ・市内県立高校入学式 ・市連合婦人会総会 ・三瓶小学校開校記念式典 ・市校長・教頭・共同事務室長合同研修会 ・市所属部会総会 ・教育事務所管内校長研修会 ・市校長・体育主任合同研修会 ・八幡浜地区租税教育推進協議会定期総会 ・県人権教育協議会西予支部総会 ・市公民館連絡協議会総会 ・市育英会理事会 		<ul style="list-style-type: none"> ・れんげ祭り ・交通安全街頭指導 ・部長会

5	定例（１）	臨時議会（１）	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町教育委員会連合会理事会 ・県教科用図書選定協議会 ・県人権教育協議会定期総会 ・四国都市教育長連絡協議会総会 ・県公立小中学校寄宿舎運営協議会総会 ・市スポーツ推進委員会総会 ・市結婚推進委員会総会 ・三瓶・宇和町・野村小運動会 ・宇和特別支援学校運動会 ・県へき地教育振興会総会 ・市教科用図書採択協議会 ・「えひめ教育の日」総会 ・愛媛県市町教育委員会教育長会議 ・管内市町教育委員会連合会総会 ・第23回朝霧湖マラソン大会 ・北海道黒松内町修学旅行訪問団来訪 	<p>学校訪問（５月、６月、７月）間に市内全ての小中学校を訪問（指導）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○小学校 23校 ○中学校 5校 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例記者会見 ・「一筆啓上」顕彰式 ・部長会 ・宇和美術協会定例総会
6	臨時（１） 定例（１）	定例議会（１） 総務常任委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・市中学校総合体育大会 ・市中学校陸上・水泳大会 ・就学指導委員会 ・市校長会研修会 ・市人権のつどい 		<ul style="list-style-type: none"> ・南予地区剣道大会 ・市連合婦人会親睦レクバレー大会 ・宇和郷土文化保存会総会 ・朝日文楽保存会理事総会 ・河成幼稚園、小学校緊急保護者会
7	定例（１） 臨時（１）		<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議委員会 ・市教科用図書選定委員会 ・野村地区小学校再編推進委員会 ・明浜地区小学校再編推進委員会 ・県教育委員会連合会定期総会 ・市教育懇談会 ・各支部小学校水泳記録会 ・県要保護児童対策地域協議会 ・市行政連絡員協議会代表者会議 ・第72回国民体育大会市実行委員会設立総会 ・第20回かまぼこ板の絵展覧会表彰式 ・野村地域教育福祉複合施設起工式 		<ul style="list-style-type: none"> ・第64回「社会を明るくする運動」西予地区出発式 ・日本児童協会特別賞授賞式 ・瀬戸内少年相撲大会 ・市政懇談会 ・三瓶高校活性化協議会

8	定例（１）	臨時議会 （１）	<ul style="list-style-type: none"> ・松本市中学生交流事業 ・市生徒国際交流事業（ニュージーランド）結団式・解団式 ・旧開智・開明学校姉妹館交流青少年派遣事業 ・児童平和学習おイネさん交流事業 ・第 11 回西予市民体育祭 ・宇和女性連絡協議会トップと語る会 ・市教頭会研修会 ・市校長会研修 		<ul style="list-style-type: none"> ・三瓶教育を語る会 ・定例記者会見 ・宇和先輩教師と語る会 ・部長会 ・塔和子さんを偲ぶ集い ・南予少年剣道錬成大会
9	定例（１）	定例議会 （１） 総務常任 委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・市内高等学校体育祭（３校） ・市内中学校運動会（５校） ・市内小学校運動会（20 校） ・西予地区防犯協会理事会 ・総会 ・市青少年育成協議会 ・西予市民病院開院記念式典 ・市朝立会館起工式 ・城川地区小学校再編推進委員会 ・市政懇談会 ・市伝統的建造物群保存地区保存審議会 		<ul style="list-style-type: none"> ・市職員採用面接 ・交通安全週間街頭指導
10	定例（１）		<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校新人体育大会 ・市内小学校陸上記録会 ・市おいね賞表彰式 ・市校長会研修会 ・市放課後子どもプラン運営委員会 ・市政懇談会 ・市教育研究大会 ・市教育委員会研修 ・第 9 回小中一貫教育全国サミット in 姫路 		<ul style="list-style-type: none"> ・部長会
11	定例（１）	臨時議会 （１）	<ul style="list-style-type: none"> ・「えひめ教育の日」推進大会 ・四国地区市町村教育委員会協議会 ・県人権・同和教育研究大会 ・臨時市校長会 ・市政懇談会 ・市支部小中学校音楽発表会 ・市団体代表者連絡会 ・市学力向上推進の会 ・第 17 回宮中雲子音楽祭 		<ul style="list-style-type: none"> ・市職員採用選考会 ・第 163 回乙亥大相撲 ・部長会 ・市戦没者追悼式 ・県歴史文化博物館 20 周年記念行事

12	定例（1）	定例議会（1） 総務常任委員会	・宇和文化の里中高齢者・女子駅伝競走大会 ・西予婦人大会 ・第11回西予市駅伝競走大会 ・市校長会研修会 ・明浜地区小学校再編推進委員会 ・野村地区小学校再編推進委員会		・仕事納め式
1	定例（1）		・市成人式 ・南予管内市町教育委員会連合会教育長会 ・各町駅伝大会（明浜・野村・城川・三瓶） ・市宇和球場起工式		・仕事始め式 ・宇和郷土文化保存会新年会
2	定例（1）		・市校長会研修会 ・市教頭会研修会 ・市青少年育成協議会定例会 ・市学校体育会理事会		・市消防出初式 ・定例記者会見 ・部長会
3	臨時（1） 定例（1）	定例議会（1） 総務常任委員会	・ロープジャンプ大会 ・市内県立高校卒業式・特別支援学校卒業式 ・市内中学校卒業式 ・市内小学校卒業式 ・市内公立幼稚園卒園式 ・市社会教育委員会 ・明浜地区小学校再編推進委員会 ・城川地区小学校再編推進委員会 ・野村地区小学校再編推進委員会 ・明浜小学校落成式 ・野村小学校南校舎落成式 ・中筋小学校（中筋幼稚園）、大和田小学校（大和田幼稚園）、河成小学校（河成幼稚園）、溪筋小学校（溪筋幼稚園）、野村小学校閉校式（閉園式） ・田之浜小学校、狩江小学校、高山小学校、俵津小学校閉校式 ・市防災会議 ・野村地域教育福祉複合施設落成式		・臨時部長会
合計	臨時（3） 定例（12）	臨時（3） 定例（4）	109回	小学校（23） 中学校（5）	37回

IV-2 施策別の点検・評価結果

1 施策の評価結果及び成果指標の達成状況一覧

重点目標	施策	施策評価結果	事務事業等	成果指標	達成状況
1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進	(1) 社会総がかりで取り組む教育の推進	順調	①特色ある学校づくりの推進		
			②学校評価の充実と活用		
	(2) 確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進	順調	①確かな学力の育成		
			②豊かな心の育成		
			③健やかな体の育成		
	(3) 特別支援教育、人権・同和教育の推進	順調	①個に応じた支援の充実		
			②いじめや差別を許さない集団づくり		
	(4) 安全・安心な学校づくりの推進	順調	①実効性のある防災教育の推進		
			②学校や地域の安全確保の推進		
	(5) 教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化	概ね順調	①市所属部会、市教育研究大会の充実		
			②研修活動の充実		
	(6) 幼稚園教育の充実	概ね順調	①充実した幼児養育の提供		
			②子育て支援の充実		
	(7) よりよい教育環境づくりの実現	順調	①学校・公立幼稚園の再編推進		
②校舎の改築及びICT設備の整備等			・ITを活用した授業の割合	A	
③小中一貫教育の検討			・耐震化率	B	
2 ライフステージに応じた社会教育の推進	(1) 生涯学習の推進	概ね順調	①生涯を通じた多様な学習機会の提供		
	(2) 公民館活動の推進	概ね順調	①地域と連携した公民館活動の充実	・公民館運営審議会開催回数	B
			②社会教育関係団体の育成と連携		
	(3) 心豊かでたくましい青少年の育成	概ね順調	①青少年健全育成体制の強化	・街頭補導回数	B
			②家庭、地域の教育力の向上	・移動補導センター回数	B
			③国際化・情報化など社会情勢に適応した取組の推進		

	(4) 人権・同和教育の推進	概ね順調	①学習機会の拡充と啓発活動の充実	・地区別人権・同和教育懇談会開催回数	A
			②人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成	・人権・同和教育に関する講座等の開催数	A
			③豊かな人権感覚を育成する教育・啓発の充実		
	(5) 図書館活動の充実	概ね順調	①読書活動の普及啓発		
			②サービス充実による読書人口の増加	・利用者数（図書を借りた人数）	B
3 人生を豊かにする文化芸術の振興	(1) 文化財の保護と活用	順調	①文化財・文化遺産の保護と活用	・文化財を見に行ったことのある人の割合	A
			②文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
	(2) 文化の振興	概ね順調	①文化の継承、次世代を担う人材の育成		
			②芸術文化、生活文化の振興	・芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合	C
	(3) 文化活動の環境と基盤の整備	順調	①文化施設の整備・充実	・施設や展示物の満足度	A
	(4) 西予市の特性を生かした文化施策の推進	概ね順調	①古代ロマンの里構想の推進	・古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合	B
			②西予市宇和町卯之町伝統的建造物群保存地区保存計画の推進		
			③四国西予ジオパークと連携した文化施策の推進		
4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進	(1) スポーツの振興	概ね順調	①生涯スポーツの普及と活動支援	・市民の週1回以上のスポーツ人口率	A
			②スポーツ振興の整備・充実		
	(2) えひめ国体の推進	概ね順調	①競技スポーツの振興と人材育成		
			②関係施設の整備・充実	・国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数）	B

2 施策及び主な取組事業の点検・評価結果

重点目標 1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

(A表)

施策	1	社会総がかりで取り組む教育の推進
評価		順調
評価に対する分析		国際化の進む現代において、語学の習得は不可欠であり、共通語的な役割を果たす英語を習得するため、これからの西予市を担う少年たちを海外に派遣し、英語圏の国での研修を行っている。英語力の基礎を習得し、異国の文化、生活習慣等を肌で感受させ、国際化時代にふさわしい人材の育成を図ることができている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	特色ある学校づくりの推進		
成果指標		設定なし		
取組事業		事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
生徒国際交流事業		<p>【事業内容】 国際化時代にふさわしい人材を育成するため、生徒をニュージーランドに派遣する。派遣までに、事前説明会（2回）、事前研修会（3回）を実施して、仲間づくりや予備知識、研修目的などの周知・徹底を図る。派遣先ではきめ細かい研修プログラムにより、充実した研修を実施する。また、ホームステイをしながら語学学校に短期入学し研修を行う。そのほか、平成22年度に西予市を訪れ、ホームステイの受入など相互交流を深めているタラデールハイスクールにも訪問する。</p> <p>【実績】 市内の中学3年生24人を選考し（作文・面接等で意欲を確認）、8月4日～8月15日までの12日間、ニュージーランドへ派遣した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 海外派遣後には、参加した生徒に自己表現力や協調性、英語理解力の面で向上が見られた。国際感覚と広い視野を持った西予市の次代を担う人材（リーダー）に育つことが期待できる。今後、より質の高い事業を実施するためには、目的意識の高い生徒を派遣する必要があり、そのため選考基準等の見直しにより意欲ある生徒の参加を促す工夫が必要である。</p>	12,573	教育総務課



バディと記念撮影



日本文化の披露

(A表)

施策	2	確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進
評価	順調	
評価に対する分析	<p>中学校では、英語教育の充実、小学校では、児童の外国語活動及び外国語（英語）への興味づけや国際理解等大きな成果を上げることができている。</p> <p>また学校保健法に基づき、市内の各小学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置していることにより、児童の健やかな身体発育を促すとともに、その健康管理についても一貫した管理、指導を行うことができている。学校の部活動は教育の一環であり、対外的な場で活動の成果を発揮することも能力を伸ばすために重要である。このため大会出場に係る各種経費を補助することによって、保護者、学校の負担軽減が図られ、多くの児童に出場、発表の機会を与えることができている。学校給食調理場の適切な維持管理により栄養バランスのとれた給食、地元食材を提供することで、児童生徒の健康増進・体力の向上及び給食を通しての食育の推進等多くの効果を生み出している。</p>	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	確かな学力の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
語学指導外国青年招致事業	<p>【事業内容】 「語学指導を行う外国青年招致事業（JETプログラム）」に基づき、英語圏の国々から外国青年を招致し、中学校での英語科の指導及び小学校における外国語活動・国際理解等の指導に当たる。児童生徒の英語力の向上やコミュニケーション能力や国際感覚を育て視野を広げること、また、外国に対する興味関心を高めること、異文化への理解などを目的として行っている。また、中学生の海外派遣の事前指導や、市民対象の英会話教室の講師として指導に当たり、市民の国際感覚を高めている。</p> <p>【実績】 平成26年度はJETプログラムによる4人と臨時職員1人のALTが、市内の中学校5校と小学校23校において指導に当たった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 学習指導要領に準じた教育を進めるため、外国語活動の充実に役立っている。また、国際化に適応した人材、考え方を育成するためにも義務教育での積極的な対応が求められている。今後、学校の再編により、市内の学校数が減ることからALTの人数については検討課題となってくるが、充実した英語教育を提供することとのバランスを考えて対応していきたい。</p>		20,892	教育学校総務教育課

(B表)

事務事業等	①	健やかな体の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
児童健康安全 管理事業	<p>【事業内容】 学校保健安全法に基づき、市内の小中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置している。また、学校保健安全法第26条を基に、スポーツ振興センターの災害給付制度に加入し、学校で起きた災害についても万全の体制を講じている。</p> <p>【実績】 ○学校医14人、学校歯科医14人、学校薬剤師6人を委嘱した。 ○医師等の適正な配置により、児童の健康の保持が図れた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 定期的な健康診断、事業開催前の検診受診と、校医等を配置することにより、平素から児童の安定した健康管理が達成されている。また、学校保健委員会等への助言等、専門の意見を受けることにより、より安全な学校運営の支柱に寄与している。しかし今後、学校の再編に伴い人数については減少の傾向となる見込みである。</p>		7,392	学校教育課

(B表)

事務事業等	①	健やかな体の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
生徒健康安全 管理事業	<p>【事業内容】 学校保健安全法に基づき、市内の中中学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置している。また、学校保健安全法第26条を基に、スポーツ振興センターの災害給付制度に加入し、学校で起きた災害についても万全の体制を講じている。</p> <p>【実績】 ○学校医14人、学校歯科医14人、学校薬剤師6人を委嘱した。 ○医師等の適正な配置により、生徒の健康の保持が図れた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 定期的な健康診断、事業開催前の検診受診と、校医等を配置することにより、平素から生徒の安定した健康管理が達成できている。また、学校保健委員会等への助言等、専門の意見を受けることにより、より安全な学校運営の支柱に寄与している。</p>		4,410	学校教育課

(B表)

事務事業等	①	健やかな体の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
小学校各種大会出場補助事業	<p>【事業内容】 県大会については補助金として宿泊費、食費を学校へ交付し、市内大会については、バス借上げ料、楽器運搬費などを支出する。</p> <p>【実績】 平成26年度は、12大会の出場に係る費用について支援を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 教育活動の一部であるクラブ活動等における保護者負担の一部を援助することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を行っていく必要があるが、補助対象経費については、ムダのない大会参加に係るスケジュールを学校と検討して、補助金の縮減に努める。</p>		1,375	学校教育課

(B表)

事務事業等	①	健やかな体の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
中学校各種大会出場補助事業	<p>【事業内容】 学校からの申請により、各種大会に出場する生徒・引率教師の宿泊費、交通費、食事代等の補助を行い、保護者、引率者の負担軽減を図る。</p> <p>【実績】 平成26年度は、12大会の出場に係る費用について支援を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 教育活動の一部である部活動等における保護者負担の一部を援助することで、教育機会の均等な提供を行うことができた。今後も継続して事業を行っていく必要があるが、補助対象経費については、ムダのない大会参加に係るスケジュールを学校と検討して、補助金の縮減に努める。</p>		9,279	学校教育課

(B表)

事務事業等	①	健やかな体の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
学校給食庶務 事業	<p>【事業内容】 給食センター方式を除いた明浜・野村・城川地区の児童生徒を対象に学校給食の提供を行うと共に、共同給食調理場・単独給食調理場の円滑な運営を行っている。調理場を運営するにあたって必要な人件費・修繕料・光熱水費・備品購入品費・消耗品費等の支出を行う。</p> <p>【実績】 給食調理場の円滑な運営と安全な給食の提供を行うことができた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 栄養バランスのとれた給食、地元食材を利用した給食を提供することで、児童生徒の健康増進・体力の向上及び給食を通しての食育の推進等を行うことができた。今後については学校再編や給食センターの建設により、調理場の減少が見込まれる。</p>		91,379	教育学 校総務 課

(A表)

施策	3	特別支援教育、人権・同和教育の推進
評価	順調	
評価に対する分析	発達障害等のある児童・生徒一人ひとりが豊かな学校生活を過ごせるよう、西予市内の小・中学校で必要と認める学校に配置し、児童・生徒一人につき生活支援員一人の体制で、各々が充実した学校生活を送れるよう支援している。支援を行うことにより、対象児童・生徒の理解にもつながり、トラブルを事前に回避することで落ち着いた学校生活につながっている。	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	個に応じた支援の充実	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
小学校生活支援員設置事業	<p>【事業内容】 発達障害等のある児童に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じたマンツーマンでの支援を行う。</p> <p>【実績】 市内の小学校9校に27人の生活支援員を配置した。平成25年度は21人、平成26年度は28人の児童に支援を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 生活支援員のかかわりが、級友の対象児童理解にもつながり、生活支援員の声かけにより、困り感のある児童の情緒安定につながっている。適切な支援の結果、生活支援員なしで学校生活を送れるようになった児童もいる。児童のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加しており、生活支援員の増員を求める声大きい。</p>	40,014	教育総務課

(B表)

事務事業等	①	個に応じた支援の充実	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
中学校生活支援員設置事業	<p>【事業内容】 発達障害等のある生徒に生活支援員を配置し、一人ひとりのニーズに応じたマンツーマンでの支援を行う。</p> <p>【実績】 市内の中学校5校に10人の生活支援員を配置した。平成25年度は8人、平成26年度は11人の生徒に支援を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 生活支援員のかかわりが、級友の理解にもつながり、教室の移動など生活支援員の声かけにより、スムーズに学校生活を送ることが出来ている。生徒のニーズが多様化する中、保護者からの配置希望は年々増加している。</p>	17,168	教育総務課

(A表)

施策	4	安全・安心な学校づくりの推進
評価		順調
評価に対する分析		不審者メール配信サービスについては、各学校を通じて広く周知されていることから保護者の多くが利用しており、不審者事案の即時情報発信を通じて学校や地域の安全確保に十分寄与している。同サービスについては、不審者に関する情報発信のほか、台風等自然災害時における休校等の情報提供など当初予定していた以外の利活用もされており、学校や地域の安全確保に広く貢献している。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	②	学校や地域の安全確保の推進		
成果指標		設定なし		
取組事業		事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
不審者情報 メール配信事 業		<p>【事業内容】 西予市内で発生する不審者事案について、メールでの情報提供を希望する保護者等に対して、情報発信を行う。</p> <p>【実績】 平成26年度は8件の事案について情報提供を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 学校、保護者、地域の安全組織ともに協力して、不審者から園児、児童生徒の安全を確保するためには、即時性のある情報発信は必要不可欠であると考えられ、今後も継続していくことが不可欠である。</p>	74	学校教育課

(A表)

施策	5	教職員の資質・能力の向上と学校組織の活性化
評価	概ね順調	
評価に対する分析	社会的に、教職員の質や社会性の向上に対する要求は高く、教職員には学科専門の知識のほか、幅広い見識、視野が求められている。新学習指導要領の施行、ICTをはじめとした教材の発達など、授業研究など実践的な研修を通して教職員の資質向上が出来ている。	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	市所属部会、市教育研究大会の充実																																									
成果指標	設定なし																																										
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課																																							
市教育研究大会実施事業	<p>【事業内容】</p> <p>平成26年10月28日、「豊かな心をもち、自ら学びたくましく生きる西予の子の育成」を研究主題とし、教職員、ALT、生活支援員の合計380人の参加のもと、明浜町内の小中学校を会場として開催した。授業改善を中心とし、参加者の資質、能力の向上を目指して半日の研修を実施した。</p> <p>(公開授業)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>教科等</th> <th>学年</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国語</td> <td>1・2年</td> <td>高山小学校</td> </tr> <tr> <td>社会</td> <td>1年</td> <td>明浜中学校</td> </tr> <tr> <td>算数・数学</td> <td>1・2年</td> <td>田之浜小学校</td> </tr> <tr> <td>理科</td> <td>6年</td> <td>高山小学校</td> </tr> <tr> <td>生活</td> <td>1・2年</td> <td>俵津小学校</td> </tr> <tr> <td>音楽</td> <td>1・2年</td> <td>狩江小学校</td> </tr> <tr> <td>図工・美術</td> <td>3年</td> <td>俵津小学校</td> </tr> <tr> <td>保健体育</td> <td>5・6年</td> <td>俵津小学校</td> </tr> <tr> <td>英語・外国語活動</td> <td>5年</td> <td>狩江小学校</td> </tr> <tr> <td>道徳</td> <td>3年</td> <td>明浜中学校</td> </tr> <tr> <td>特別活動</td> <td>2年</td> <td>明浜中学校</td> </tr> <tr> <td>生活単元学習(特別支援教育)</td> <td>しおかぜ</td> <td>明浜中学校</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】</p> <p>公開授業や分科会の研修を通して、自ら学ぶための授業づくり等授業改善の方向性を共有することができた。ALTや生活支援員が情報交換する場をもつことができ、支援の仕方について学び合うこともできた。</p> <p>保健体育科の授業においては、タブレット型のパソコン等のICT機器を活用した授業も展開され、多くの刺激を与えることができた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】</p> <p>教職員等が一同に会し、研修を深めることは、市内の教育レベルの向上につながる。今後も児童生徒に確かな学力を育てるためにも、この研究会を継続していく予定である。また、導入予定であるタブレット型のPC活用方法の研修機会になればよいと考える。</p>		教科等	学年	会場	国語	1・2年	高山小学校	社会	1年	明浜中学校	算数・数学	1・2年	田之浜小学校	理科	6年	高山小学校	生活	1・2年	俵津小学校	音楽	1・2年	狩江小学校	図工・美術	3年	俵津小学校	保健体育	5・6年	俵津小学校	英語・外国語活動	5年	狩江小学校	道徳	3年	明浜中学校	特別活動	2年	明浜中学校	生活単元学習(特別支援教育)	しおかぜ	明浜中学校	74	学校教育課
	教科等	学年	会場																																								
国語	1・2年	高山小学校																																									
社会	1年	明浜中学校																																									
算数・数学	1・2年	田之浜小学校																																									
理科	6年	高山小学校																																									
生活	1・2年	俵津小学校																																									
音楽	1・2年	狩江小学校																																									
図工・美術	3年	俵津小学校																																									
保健体育	5・6年	俵津小学校																																									
英語・外国語活動	5年	狩江小学校																																									
道徳	3年	明浜中学校																																									
特別活動	2年	明浜中学校																																									
生活単元学習(特別支援教育)	しおかぜ	明浜中学校																																									

(A表)

施策	6	幼稚園教育の充実
評価		概ね順調
評価に対する分析		補助金の交付により、保護者の実質負担額が2人目半額、3人目無料となっているため、保護者の負担を軽減することができ、公・私立間の保育料格差の是正や幼稚園教育の充実を図ることができている。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	②	子育て支援の充実	
成果指標		設定なし	
取組事業		事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円) 担当課
私立幼稚園運営費補助金事業		<p>【事業内容】 私立幼稚園に対し、運営費の補助を行う。運営経費、園医経費、障害児補助職員人件費を補助対象経費としている。運営経費は幼稚園1園あたり630,000円の基本額に、当該年度における5月1日現在の在籍園児数に7,000円を乗じた額を加算した額。園医経費は園医報酬の1/2以内。ただし、50,000円を限度。障害児補助職員人件費は、補助対象経費から対象児童の保育料の1/2を減じた額。ただし、250,000円を限度。</p> <p>【実績】 三瓶幼稚園、卯之町幼稚園の2園に補助金の交付を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 私立幼稚園に対し助成することで幼児教育の安定経営を図ることができた。今後も継続して事業を行っていく。</p>	2,669 学校教育課

(B表)

事務事業等	②	子育て支援の充実	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
私立幼稚園就園奨励費補助金事業	<p>【事業内容】 私立幼稚園に対して、幼児教育の振興を図る観点から、保護者の所得状況に応じた経済的負担軽減のため、補助金を交付する。西予市内に住所を有し私立幼稚園（市外含む。）に通う園児の保護者が対象となる。 幼稚園が該当する保護者の調書を取りまとめて教育委員会に申請する。教育委員会は書類を審査のうえ補助金額を確定し、幼稚園に交付する。</p> <p>【実績】 私立幼稚園4園(120人)に補助金の交付を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 特に低所得世帯や多子世帯に対して充実した支援を行うことができた。今後も継続して事業を行っていく必要がある。</p>	13,011	学校教育課

(B表)

事務事業等	②	子育て支援の充実	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
幼稚園施設修繕事業	<p>【事業内容】 市内幼稚園6園の安心安全な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。</p> <p>【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を8件実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全安心な教育環境の整備に寄与することができた。 幼稚園施設は、再編に伴い平成27年度は野村幼稚園、惣川幼稚園の2園となる予定である。この2園については、施設整備が進んでおり、今後も不具合箇所の修繕、施設点検の実施等、園児の安全安心な教育環境の整備に努める。</p>	672	教育総務課

(A表)

施策	7	よりよい教育環境づくりの充実
評価		順調
評価に対する分析		<p>I C T関連機器の設備の充実については、既存環境の維持程度にとどまっている。より一層の教育のI C T環境整備を実現するため、平成26年度にはI C T関連機器の充実について教職員を交えた検討を行い、平成27年度にはその結果をもって平成28年度以降のI C T環境整備に係る予算措置を得るよう計画している。</p> <p>また、学校施設は老朽化が進んでおり、修繕箇所は増加傾向にある。不具合箇所の修繕を実施することにより、安全安心な教育環境を保つことができた。今後、施設の老朽化に伴い大規模な修繕が必要となり、経費の増加が見込まれるが、安全安心な教育環境の整備に努める。</p> <p>西予市小学校再編計画の推進により、計画通り統合校舎の建設や改修工事が実施できている。</p>

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	学校・公立幼稚園の再編推進		
成果指標		設定なし		
取組事業		事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
学校再編推進事業		<p>【事業内容】 平成21年度に策定した小学校再編計画に基づき、市内小学校の適正規模、学校教育の充実や振興、よりよい方向性について検討し、子どもたちを取り巻く教育環境の整備を図る。</p> <p>【実績】 平成26年度においては、4月1日に新「三瓶小学校」が開校したほか、明浜地区4校、野村地区5校（大野ヶ原、惣川除く。）及び野村地区5つ幼稚園（惣川除く。）の再編を進め、平成27年3月31日をもって統合が完了した。平成27年4月1日から「明浜小学校」、新「野村小学校」、「野村幼稚園」がスタートする。</p> <p>また、城川地区においては、9月12日に城川地区小学校再編推進委員会を組織することができた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 各地区の再編推進委員会で慎重に協議され、明浜及び野村地区で統合でき、子どもたちの教育環境を整備することができた。</p> <p>城川地区では、関係4校の再編を進めており、これまで同様、再編推進委員会で諸課題について、調整・協議を進めていきます。</p> <p>また、宇和地区においても保護者説明会を開催し、再編計画への理解を求めていく予定である。</p>	117,407	教育総務課

(B表)

事務事業等	②	校舎の改築及びICT設備の整備等	
成果指標	設定あり（ITを活用した授業の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
小学校情報教育振興事業	<p>【事業内容】 西予市立小学校23校の教育用コンピューター及び教育情報ネットワークの整備更新及び維持を行う。</p> <p>【実績】 平成26年度は西予市立三瓶小学校のコンピューター教室設備（教師用PC2台及び児童用PC40台等）の更新を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 西予市立小学校内で唯一WindowsXP環境であった西予市立三瓶小学校の教育用コンピューターの整備が完了したことで、セキュリティリスクの低減が図れたほか、最新機器の導入により情報教育環境が一層向上した。 今後は、現在のコンピューター教室を中心とした教育のICT環境整備のほか、国の推し進める教育の情報化施策を注視しつつ、普通教室等への教育のICT環境整備を推し進める必要がある。</p>	9,760	学校教育課

(B表)

事務事業等	②	校舎の改築及びICT設備の整備等	
成果指標	設定あり（ITを活用した授業の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
中学校教育情報振興事業	<p>【事業内容】 西予市立中学校5校の教育用コンピューター及び教育情報ネットワークの整備更新及び維持を行う。</p> <p>【実績】 平成26年度は西予市立宇和中学校及び野村中学校のコンピューター教室設備（教師用PC4台及び児童用PC80台等）の更新を行った。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 西予市立中学校内で未だWindowsXP環境であった西予市立宇和中学校及び野村中学校の教育用コンピューターの整備が完了したことで、セキュリティリスクの低減が図れたほか、最新機器の導入により情報教育環境が一層向上した。 今後は、現在のコンピューター教室を中心とした教育のICT環境整備のほか、国の推し進める教育の情報化施策を注視しつつ、普通教室等への教育のICT環境整備を推し進める必要がある。</p>	4,526	学校教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
I Tを活用した授業の割合		6.06%	7.00%	6.70%	0.64%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	平成24年度の現状値と比べ0.64%向上しており、目標値ベースの向上目標値0.38%を大きく上回っている。 現状のコンピューター教室を主体としたI Tを活用した授業については、同教室が各校1室しかないことなどから活用限界を迎えつつあり、今後は普通教室等への教育のI C T環境整備を進め、よりI Tを活用した授業に取り組みやすい環境整備を行うことで早期の目標達成を目指す。		

(B表)

事務事業等	②	校舎の改築及びI C T設備の整備等		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
小学校施設修繕事業	<p>【事業内容】 市内小学校23校の安心安全な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。</p> <p>【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を120件実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全安心な教育環境の整備に寄与することができた。 小学校施設は学校再編に伴い減少しており、平成27年度16校、平成28年度は13校となる予定である。統合拠点校4校の施設整備は進んでいるが、拠点校以外9校の内、6校は30年以上経過しており、老朽化が深刻な問題となっている。 今後、施設の老朽化に伴い修繕、改築に係る費用の増加が見込まれるが、施設点検を実施し、児童の安全確保はもとより、機能向上も視野に入れた中長期の修繕整備計画の策定を進めることにより、施設の長寿命化を図るとともに、トータルコストの縮減に努める。</p>		12,759	教育総務課

(B表)

事務事業等	②	校舎の改築及びICT設備の整備等	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
中学校施設修繕事業	<p>【事業内容】 市内中学校5校の安心安全な教育環境を整備するため、老朽化した施設の修繕を実施する。</p> <p>【実績】 老朽化等による不具合箇所の修繕を47件実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 不具合箇所の修繕を実施し、安全安心な教育環境の整備に寄与することができた。 中学校施設の内、三瓶中学校、宇和中学校、野村中学校の3校は30年以上経過しており、老朽化が深刻な問題となっている。 今後、施設の老朽化に伴い修繕、改築に係る費用の増加が見込まれるが、施設点検を実施し、生徒の安全確保はもとより、機能向上も視野に入れた中長期の修繕整備計画の策定を進めることにより、施設の長寿命化を図るとともに、トータルコストの縮減に努める。</p>	37,916	教育総務課

(B表)

事務事業等	②	校舎の改築及びICT設備の整備等	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
明浜地区小学校統合校舎建設事業	<p>【事業内容】 明浜地区小学校の統合にあわせて、安心安全な教育環境を整備するため、校舎新築工事を実施する。</p> <p>【実績】 鉄筋コンクリート造4階建て 延床面積A=2,839.95㎡</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 平成26年度は、平成25年度からの継続事業として統合校舎を完成することができた。平成27年4月から児童たちは新校舎で快適な環境で学習することができる。 平成27年度は、旧俵津小学校解体工事及び外構工事を実施予定である。</p>	676,388	教育総務課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
耐震化率		86.10%	100.00%	85.10%	-1.00%
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	平成24年度の現状値と比べ1.0%減となっている。原因として小学校再編による統合により、耐震化した校舎が閉校となり耐震化率対象の校舎でなくなったことが要因である。今後、平成27年度末にはさらに小学校が閉校となるため耐震化率は増加し、耐震性能を満たしていない建物は1校となる見込みである。		



明浜小学校全景



明浜小学校児童用玄関

重点目標 2 ライフステージに応じた社会教育の推進

(A表)

施策	1	生涯学習の推進
評価		概ね順調
評価に対する分析		平成26年度まちづくり市民アンケート調査結果から生涯学習の提供や相談活動、また、教育施設の充実や、実施する学習活動や講座の満足度は「普通以上～満足」が80%を超える結果となっている。これは生涯学習の構築と魅力ある地域づくりを実現するため、幼児、青少年、家庭、成人、婦人、高齢者教育と様々な分野において主体的に学習できる場と機会づくりに努めた結果と評価できる。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	生涯を通じた多様な学習機会の提供		
成果指標		設定なし		
取組事業		事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
成人式開催事業		<p>【事業内容】 「成人式に参加することにより、大人として、成人としての自覚と責任を認識し、同世代の仲間との交流を通して、ふるさとを愛する心を培うとともに、新成人者の前途を祝福、激励する。」ことを目的に開催する。式典、記念行事等を実施する。</p> <p>【実績】 平成27年1月3日に実施した。 ・対象者数 423名（男性217名、女性206名） ・出席者数 323名（男性168名、女性155名） 出席率76.4%</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 記念行事で成人者に司会を行っていただいたところ、実施したアンケートの意見に「司会が良かった」と評価を得た。 成人者がふるさとを愛し、参加しようと思える成人式になるよう、今後も成人者の意見を取り入れながら進めていきたい。</p>	1,407	生涯学習課

(A表)

施策	2	公民館活動の推進
評価	概ね順調	
評価に対する分析	<p>西予市には中央公民館と24の地区公民館があり、地域の実情に即した事業を計画的に実施し、参加者からは高い評価を得ている。公民館では地区住民主体の事業として、健康で明るい人づくり、町づくり、教養講座、生活伝統文化、住民福祉の向上に寄与する活動や各種イベントによる地域住民の交流・活動を実施し活性化に繋がっている。また「まちづくり市民アンケート」では学習講座や学習機会の満足度は81.5%の評価から公民館活動の推進は、概ね順調であると考えている。</p>	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
中央公民館 コミュニティ 推進事業	<p>【事業内容】 宇和地区内7館（多田・中川・石城・宇和・下宇和・田之筋・明間）では、自主管理補助金を活用して、地域色豊かなイベント事業や実情にあった幅広い活動を行う。</p> <p>【実績】 それぞれの公民館が地域の特色を生かした活動を展開し、時代の要請に応える公民館活動が実施できた。 また、地域のニーズに応えた活動が提供されており、活動の成果が地域活性化に大きく寄与できた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 今後も地域課題をとらえた事業を実施する。 公民館運営審議会を生かし活性化を図ると共に外部評価により公民館事業の検証を行う。 限界集落問題や高齢社会に直面し各地区の疲弊感は否めないが、地域リーダーを養成し地域の特性を生かした公民館活動の在り方を考えていく。</p>		6,286	生涯学習課

(B表)

事務事業等	①	地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性		決算額 (千円)	担当課
公民館運営事業（明浜）	<p>【事業内容】 明浜地区4つの公民館（田之浜・高山・狩江・俵津）では生涯学習の拠点として、各種団体・関係機関と連携し住民の自己学習と自治意識を高める社会教育を推進し、地域特性を活かした事業を展開する。 主な事業は次のとおり。 ○青少年教育 通学合宿、閉校記念餅つき大会 ○成人教育 粗大ごみ回収 ○婦人教育 ホウ酸団子づくり、廃油石鹼講習、ぼかし作り ○家庭教育 人形劇鑑賞 ○文化教育 産業文化祭、各地区芸能発表会 ○社会体育 ニュースポーツ大会、元旦走ろう会 ○総合教育 狩江地区教育研究大会、学習発表会を観に行こう、公民館だより</p> <p>【実績】 4つの公民館において、それぞれ地域の特色を活かした各種講座やイベントを開催し、地域や学校との連携により生涯学習活動を幅広く展開することができた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 公民館は、地域住民が自らの力で自分たちの地域をより暮らしやすくするための活動拠点となる施設である。 特に明浜地区では人口の減少や少子高齢化が急速に進む中、今後とも更なる子育て支援や高齢者の地域課題に向けた学習の展開が必要である。</p>		1,526	明浜教育課

(B表)

事務事業等	①	地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
公民館運営事業（宇和）	<p>【事業内容】 宇和地区7つの公民館（多田・中川・石城・宇和・下宇和・田之筋・明間）におけるイベント事業及び公民館講座事業、中央公民館講座事業を実施する。各地区で住民の学習ニーズを把握し、地域の実情にあった学級・講座を開設し、乳幼児から高齢者まで幅広い学びの場を提供する。 主な事業は次のとおり。 ○家庭教育 料理教室、幼児交流会、遊びの広場、つながり学級（中学生保護者） ○青少年教育 わんぱくチャレンジスクール(キャンプ)、通学合宿、体験学習 ○成人教育 英会話、古典読書、各種趣味講座、スポーツ教室、ふる里探訪、健康教室 ○婦人教育 ミセスキッチン（料理教室）、いきいき学級、料理教室、レクバレー教室、各種趣味講座（絵手紙、手芸等） ○高齢者教育 クロッケー教室、料理教室、健康教室、手芸教室 ○人権教育 各地区人権の集い、指導者研修会、地区別学習会、草の根懇談会</p> <p>【実績】 それぞれの公民館が地域の特色を活かした活動を展開し、時代の要請に応える公民館活動が実施できた。 また、地域のニーズに応えた学びの機会が提供されており、学習の成果が地域活動につながった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 今後も住民のニーズや地域課題をとらえた事業を実施する。 公民館運営審議会を生かし活性化を図ると共に外部評価により公民館事業の精選を行う。そして、公民館で学んだことを地域に還元していく体制づくりを構築していく。 限界集落問題や高齢社会に直面し各地区の疲弊感は否めないが、地域リーダーを養成し地域の特性を生かした公民館活動の在り方を考えていく。</p>		582	生涯学習課

(B表)

事務事業等	①	地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性		決算額 (千円)	担当課
公民館運営事業（野村）	<p>【事業内容】 野村地区6つの公民館（野村・溪筋・中筋・貝吹・横林・惣川）では地域住民の社会教育・生涯学習を拠点として、イベント事業及び講座事業を通して、地域コミュニティづくりや関係機関・団体との連携を深め、地域の特色を活かした活力ある地域づくりに努める。 主な事業は次のとおり。 ○地域づくりの推進 地域づくり交付金事業の展開 ○青少年教育の推進 通学合宿、チャレンジ隊、アドベチャースクールの実践、西予の川を守る会との連携、魚つかみ大会、食育教育の開催 ○婦人教育の推進 婦人学級の開催、花いっぱい運動、ジオ学習会の実践 ○文化教育の推進 文化祭の開催、史談会の協力・援助 ○高齢者教育の推進 健康づくり、グランドゴルフ、ノルディックウォーク ○人権・同和教育の推進 人権のつどい「野村会場」の開催、各小集落学習会、校区別人権・同和研修会の実施 ○都市と農村交流事業の推進 風の子農業小学校 ○生涯スポーツの推進 各種大会の実施、のむらスポーツクラブ・ノルディック夢クラブとの連携</p> <p>【実績】 ○それぞれの公民館において、地域の特色を活かした事業を展開し、地域のニーズに応え学習の場が提供された。 ○四国西予ジオパークのさらなる推進に向け、各種団体で積極的な「ジオ学習会」を行った。 ○のむらスポーツクラブ、ノルディック夢クラブと連携し、住民の健康増進に努めた。 ○公民館報で、各講座やイベントの情報提供に努めた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 小学校の閉校により、地域の核となる公民館活動の実践、魅力ある公民館活動の展開や地域づくり交付金事業を活かした魅力ある地域づくり、誇れる地域づくりに向け、住民参加型の事業を推進する必要がある。</p>		1,426	野村教育課

(B表)

事務事業等	①	地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定あり（公民館運営審議会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性		決算額 (千円)	担当課
公民館運営事業（城川）	<p>【事業内容】 城川地区4つの公民館（遊子川・土居・高川・魚成）では、生涯学習の拠点として、各種団体・関係機関と連携し、住民の自己学習と自治意識を高める社会教育を推進するとともに、地域の特性を生かした活力ある地域づくりに努める。 主な事業は次のとおり。 ○青少年教育 愛護班活動、水生生物調査 ○成人教育 夜市、こいのぼり設置、門松設置、感謝祭 ○婦人教育 各種教室(体操・料理・陶芸・環境)、敬老会 ○高齢者教育 クロッカー大会、三世代交流、一日研修 ○人権・同和教育 人権懇談会(校区別・地区別・団体別) ○家庭教育 ごみ分別学習会、ボカシづくり・ ○社会体育 運動会、レクバレー、クロッカー大会、駅伝 ○文化教育 奥伊予盆踊り花火大会、木工教室 ○総合教育 地域PR映画上映、社会教育懇談会、避難訓練、公民館だより発行、公民館運営審議会、年末大掃除 ○その他 都市住民との交流会、どんど焼き、地区合同歓迎会</p> <p>【実績】 社会教育の活動拠点施設として、地域住民の要望を取り入れた特色ある公民館活動を推進し、地域の活性化に寄与した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 少子高齢化が急速に進む中、各種講座・イベント等への参加者が減少傾向にもあるため、事業のマンネリ化を見直し、住民のニーズに合った内容の精査を図る必要がある。また、地域づくり交付金事業を有効活用し、地域の活性化につながるような住民参加型の魅力ある事業を推進する必要がある。</p>		1,191	城川教育課

(B表)

事務事業等	①	地域と連携した公民館活動の充実		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性		決算額 (千円)	担当課
公民館運営事業 (三瓶)	<p>【事業内容】 三瓶地区では公民館を生涯学習の拠点として自発的・主体的に活動できるように育成・援助しながら取組を行った。今年度は小学校の統廃合に伴い、公民館3館（三瓶東・三瓶北・三瓶南）で協力し、連携を図りながらイベント及び講座事業を実施する。 主な事業は次のとおり。 ○青少年教育 アドベンチャーみかめ、わんぱく学級、カルタ大会、書き初め大会、小学生バレーボール教室ほか ○社会体育 分館交流球技大会、バスケットボール(3on3)大会、レクバレー大会、軽スポーツ大会、健康ウォークほか ○高齢者学級 クロッケー大会、健康教室、交通安全教室ほか ○成人・婦人学級 英会話教室、料理教室、干支づくり、民謡踊り講習会ほか ○各種展示会 手作り作品展、絵手紙展覧会 このほか、各種大会、学級、イベントを開催している。</p> <p>【実績】 高齢者学級など古い事業は35回を数えている。一方、今日の子どもの理系離れを克服するために科学教室を立ち上げるなど、新しい事業も生まれてきている。また、なんでもセミナーにおいて作成した作品を文化祭で展示するなど、成果を披露する機会も提供できている。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 公民館と遠い年齢層(20代～50代)をいかに取り込むかが課題である。これらの年齢層が関心を持つ事業を展開し、この課題を克服したい。</p>		951	三瓶教育課

(C表)

成果指標		基準値(A)	目標値	実績値(B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
公民館運営審議会開催回数		2.3回	3.0回	2.0回	-0.3回
達成状況	B:達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	市内の公民館24館は年間ほぼ2～3回の公民館運営審議会を開催している。団体連絡協議会等と同日開催の公民館もあり、概ね予定通り進行している。		

(B表)

事務事業等	②	社会教育関係団体の育成と連携		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
社会教育団体 育成事業	<p>【事業内容】 社会教育団体育成のため、運営経費の一部を補助金として交付する。</p> <p>【実績】 PTA、愛護班、女性団体連絡協議会、壮年会、婦人会、ボーイスカウト、西予市国際交流協会、青年団、三瓶町幼児教育振興協議会、野村町若葉会連絡協議会の10団体に補助金を交付した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 どの団体においても会員の減少及び活動の低迷が課題となっているため、団体の活動を多くの方に知ってもらい一緒に参加していただけるようにすることも必要。 また、社会教育団体を中心となり、社会教育の活動支援ができ青少年の健全育成・地域の活性化に繋げていく。</p>		6,967	生涯学習課

(A表)

施策	3	心豊かでたくましい青少年の育成
評価	概ね順調	
評価に対する分析	<p>市青少年育成協議会や各中学校区児童生徒をまもり育てる協議会等において、関係機関・団体等の間でいじめや非行状況などの問題点について協議し、意見交換を行うことで、いじめや非行の未然防止ができています。また、市青少年育成協議会が中心となり、市民総ぐるみで「あいさつ運動」を展開している。</p> <p>これらの活動は大変有意義であり、心豊かでたくましい青少年を育成していると考えています。</p>	

(B表)

事務事業等	①	青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
市青少年育成協議会事業	<p>【事業内容】 目的に賛同する市内の青少年関係団体（機関）により協議会を構成し、情報交換等を行い、青少年の健全育成に取り組む。</p> <p>【実績】 市青少年育成協議会の定例委員会及び各支部の協議会が定期的に開催され、協議された内容が実行へと移された。また、育成協議会の活動方針の主要施策である「あいさつ運動」を各支部協議会と連携し運動を展開することができた。 各青少年関係機関・団体と青少年の非行状況や問題点などの情報交換が実施できた。 人づくりを考える集いの来場者は、平成26年度においても550人あり、市民に定着した集会となっている。また、参加者を対象にしたアンケート結果でも「良かった」との回答が約8割をしめ、市民にとって関心が高い集会となっている。 家庭・学校・地域社会が連携し、市民一人ひとりの青少年育成に対する理解と認識が深められた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 次代の担い手となる青少年の育成は行政の責務であり、家庭・学校・地域社会が連携し、市民一人ひとりが青少年育成に対する理解と認識を深め、これから自分たちに何ができるかを考え、実践に結び付けていく必要がある。 また、青少年を取り巻く環境は、有害情報の氾濫、青少年の健全育成を阻害する有害環境が刻々と複雑多様化してきているため、有害図書の見直し・排除（白ポスト）や正しいインターネット・携帯電話の利用等の指導に努めていきたい。</p>		660	生涯学習課

(B表)

事務事業等	①	青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（街頭補導回数）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
市青少年補導員活動事業	<p>【事業内容】 青少年補導員は定期的な街頭補導活動や各地区のお祭りや行事での補導活動として移動補導センターの開設や声かけ・指導活動を実施した。</p> <p>【実績】 平成26年度の街頭補導では、警察・学校関係機関と連携して実施したことにより補導するような少年は出なかった。 ○街頭補導…125回 ○出動補導員数…延べ396人 ○移動補導センター開設…18回 ○声掛け指導した少年数…52人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 次代の担い手となる青少年の育成は行政の責務であり、家庭・学校・地域社会が連携し、市民一人ひとりが青少年育成に対する理解と認識を深め、これから自分たちに何ができるかを考え、実践に結び付けていく必要がある。 また、青少年を取り巻く環境は、有害情報の氾濫、青少年の健全育成を阻害する有害環境が刻々と複雑多様化してきているため、有害図書の見直し・排除（白ポスト）や正しいインターネット・携帯電話の利用等の指導に努める。</p>		1,350	生涯学習課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
街頭補導回数		130回	130回	125回	-5回
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	青少年を取り巻く環境は情報化社会となり、いじめや非行の引き金は多様化している。 街頭補導では青少年への声掛けや挨拶を行い非行を未然に防ぐことに有効である。		

(B表)

事務事業等	①	青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定あり（移動補導センター回数）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
青少年補導センター運営事業	<p>【事業内容】 青少年補導センター事業では青少年補導員の定期的な街頭補導活動や各地区行事での移動補導センターの開設を行い青少年の非行防止に努めている。</p> <p>【実績】 平成26年度の街頭補導では、警察・学校関係機関と連携して実施したことにより補導するような少年は出なかった。 各青少年関係機関・団体と青少年の非行状況や問題点などの情報交換が実施できた。 ○定期的な街頭補導…125回、 出動した補導員数…延べ396人 ○各地区行事での補導活動（移動補導センター回数…18回） ○声かけ・指導した少年の数…52人 ○青少年健全育成活動の充実と各種研修会等への参加</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 次代の担い手となる青少年の育成は行政の責務であり、家庭・学校・地域社会が連携し、市民一人ひとりが青少年育成に対する理解と認識を深め、これから自分たちに何ができるかを考え、実践に結び付けていく必要がある。 また、青少年を取り巻く環境は、有害情報の氾濫、青少年の健全育成を阻害する有害環境が刻々と複雑多様化してきているため、有害図書の見直し・排除（白ポスト）や正しいインターネット・携帯電話の利用等の指導に努める。</p>		229	生涯学習課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
移動補導センター回数		20回	20回	18回	-2回
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	青少年を取り巻く環境は情報化社会となり、いじめや非行の引き金は多様化している。 移動補導センターでは地域のお祭りやイベントでの青少年への声掛けや非行を未然に防ぐことに有効である。		

(B表)

事務事業等	①	青少年健全育成体制の強化		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/課題・今後の方向性		決算額 (千円)	担当課
アドベン チャースク ール事業	<p>【事業内容】 県内外小学三年生から中学三年生までを対象に6泊7日の自然体験キャンプを実施する。子どもたちは源流探検や羅漢穴探検など貴重な体験の中で、生きていく知恵を養う。</p> <p>【実績】 平成26年度のスクールは26回目を数え、県内外から34名の参加があり、大自然の中で自立・共助の精神を育んだ。また、地元の子どもと都会の子どもと交流も図れた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 ベースキャンプとしている野村少年自然の家の老朽化や管理人の高齢化の問題があり、今後の活動方法や内容変更を検討する段階にきている。また、四国西予ジオパークの理解を深める活動として最適な事業であることから、今後も各種団体と連携を深めていく。</p>		90	野村教育課

(A表)

施策	4	人権・同和教育の推進
評価	概ね順調	
評価に対する分析	地域社会に人権文化を根付かせるため、同和問題をはじめとする様々な人権課題について啓発活動を実施してきた。その成果として人権感覚や人権意識の高揚に繋がってきたと考えている。一方でインターネット等による人権侵害等の新たな人権課題が起きており、今後も学習会や講演会等を開催し、多くの市民が高い人権意識を持てるよう取組む必要があると考える。	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	学習機会の拡充と啓発活動の充実		
成果指標	設定あり（地区別人権・同和教育懇談会開催回数）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
校区別人権教育懇談会事業	<p>【事業内容】</p> <p>市内小中学校が主体となって、校区毎に児童生徒の保護者、校区住民、教職員を対象として人権・同和教育を実施する。また、人権参観日と併用して地域住民も参加できる人権教育啓発事業を実施する。</p> <p>【実績】</p> <p>市内全小中学校で実施した。小学校23校、中学校5校内容は、講演会、人権作文発表、人権劇等各学校で様々な取り組みを実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】</p> <p>市内小学校の統廃合により学校数が平成27年度は7校減、平成28年度は更に3校減となる予定である。平成27年度、野村小学校区においては旧校区別に同事業を取り組むよう計画した。市内各地で展開している地区別人権学習会と両輪で地域住民も巻き込んだ事業展開を行っていく。</p>		1,201	生涯学習課及び各教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
地区別人権・同和教育懇談会開催回数		154回	154回	171回	17回
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	年度当初に差別事象が発生し再発防止に取り組んだ。その方法として、学習会により啓発することとなり広く開催することができた。その後、差別事象は発生しておらず啓発の効果があったと考えている。		

(B表)

事務事業等	②	人権・同和教育推進体制の充実及び指導者の育成		
成果指標	設定あり（人権・同和教育に関する講座等の開催）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
人権のつどい 事業	<p>【事業内容】 人権意識を高め、人権問題への関心を深めるため、市内3箇所(宇和、野村、城川)で「西予市人権のつどい」を実施している。なお、宇和会場と野村会場は人権啓発地方委託事業(法務省)を受け実施する。対象者は行政・団体、企業関係者等を中心に全市民としている。内容は講演会である。</p> <p>【実績】 ○宇和会場 6月21日(土) 講師：中尾由喜雄 氏 (全国隣保館連絡協議会常任顧問・事務局長) 「人権文化豊かなまちづくりに向けて～阪神・淡路大震災が教えたもの～」 会場：宇和文化会館大ホール 参加者：約600人 ○野村会場 6月29日(日) 講師：道志真弓 氏 (前熊本市人権教育講師、ナレーター、元フリーアナウンサー) 「笑顔の戦士～生きてるって幸せ～」 会場：乙亥会館アリーナ 参加者：約200人 ○城川会場 7月5日(土) 講師：桂ぼんぼ娘 氏(落語家) 「なぜ、いじめはなくなるの？～元いじめられっ子の落語家からのメッセージ～」 会場：城川中学校体育館 参加者：約200人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 同時に実施したアンケート集計結果から、「今後もこのようなつどいを行うべき」との回答(宇和90%、野村86%)や、「見えなかった部分が見えてきた」、「人権について考えることができた」との記載が見れた。しかし、1市2講演の委託事業は特例であり、平成28年度は委託事業の見直しが迫られている。今後、3会場を維持するための予算確保、内容の変更が必要となっている。</p>		780	生涯学習課・野村教育課・城川教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
人権・同和教育に関する講座等の開催		295回	300回	300回	5回
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	差別事象の発生により、学習会による啓発に力を入れたため開催回数が増加したと考えている。今後、学校数の減少、人口の減少等の理由で成果の向上は難しいと思われるが、さまざまな場で人権課題が取り上げられるよう検討していきたい。		

(A表)

施策	5	図書館活動の充実
評価	概ね順調	
評価に対する分析	<p>図書貸出し人数は減少したが、貸出冊数、来館者は増えている。全国的にも、平成22年度をピークにこの傾向がみられることから、少子化の影響も大きい。本を借りる以外の目的で図書館を訪れる人が増えた事が一因と考えられる。資料の充実は言うまでもなく、自習スペースの拡充やネット環境の整備など、図書貸出し以外の機能を加わえることにより、図書館へ足を運びたい環境整備が必要である。</p>	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	読書活動の普及啓発		
成果指標	設定あり（利用者数（図書を借りた人数））			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
図書館電算システム管理事業	<p>【事業内容】 図書館システムによりデータ作成と検索の充実、カウンター業務の効率化を図り、利用者に対する種々のサポート体制の強化に努める。また、社会教育の機関として教育・研究活動の支援、読書人口の増加という目的達成につなげる。</p> <p>【実績】 検索システムによるレファレンスサービス、インターネット予約の件数は増加している。また、平成27年3月にはシステムのバージョンアップを行い、さらに安定性、利便性の向上が図れた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 図書館システムを使ったサービス業務や閲覧のみの利用者が増えている。野村分館が新築されたこともあり、長時間滞在型の図書館という目標達成に向け、さらに環境整備を推進し読書人口の増加に努める。</p>		1,524	生涯学習課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
利用者数（図書を借りた人数）		43,801人	48,000人	38,779人	-5,022人
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価		利用者数は減少したが、インターネット予約、検索などシステムを利用したサービスの利用は増加している。サービスが向上すればするほど利用者からの要求は質量ともに増加している現状である。それに対応できるよう必要業務の効率化と強化を図る。	

重点目標 3 人生を豊かにする文化芸術の振興

(A表)

施策	1	文化財の保護と活用
評価		順調
評価に対する分析		200件を超える市指定文化財の再評価、分布調査による包蔵地の把握などを通して今後の文化財行政の基盤整備を進めている。同時に文化財の魅力を伝える取り組みを行っている。現在、文化財に親しむ人の割合は安定して高いが、積極的に文化財の持つ魅力を広く伝えることで、市民の文化財に対する意識をさらに高めるとともに、文化財を地域づくりに活かせるよう取り組みたい。

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	文化財・文化遺産の保護と活用					
成果指標		設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）					
取組事業		事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	<table border="1"> <tr> <td>決算額 (千円)</td> <td>担当課</td> </tr> <tr> <td>6,749</td> <td>文化 体育 振興 課</td> </tr> </table>	決算額 (千円)	担当課	6,749	文化 体育 振興 課
決算額 (千円)	担当課						
6,749	文化 体育 振興 課						
文化財保護推進事業		<p>【事業内容】 市内の指定文化財や指定候補物件の専門的調査を通して、文化財の再評価を行うとともに新たな文化財の発掘に努め、文化財の保護、活用を進める。また、市指定有形文化財（建造物）松の窪堂の修理を行う（H25～繰越）。</p> <p>【実績】 有形文化財（美術工芸品）のうち、奈良国立博物館上席研究員の協力を得て彫刻の調査を実施したほか、市教委職員が考古資料の調査を実施した。また、松の窪堂の保存修理を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 引き続き専門家の協力を得ながら調査を実施する。併せて、文化財の見直しの方向性を文化財保護審議会等で議論しながら検討する。文化財に対する補助金の在り方も検討する。</p>					



指定文化財の再評価に伴う調査



保存修理後の松の窪堂

(B表)

事務事業等	①	文化財・文化遺産の保護と活用	
成果指標	設定あり（文化財を見に行ったことのある人の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)
埋蔵文化財発 掘調査事業	<p>【事業内容】 市内遺跡詳細分布調査（国庫補助事業）により埋蔵文化財包蔵地の把握と周知に努め、埋蔵文化財の保護の基盤を整備する。また、坪栗遺跡出土の未整理資料の整理作業を進める。その他、周知の埋蔵文化財包蔵地における開発への対応を行う。</p> <p>【実績】 分布調査を実施し、野村町で16件、明浜町で2件の新規の周知の埋蔵文化財包蔵地を確認した。この成果を基に野村町の包蔵地地図を作成したほか、H24～H26年度の調査成果をまとめた報告書を刊行した。整理作業は、分布調査と坪栗遺跡（山田）出土資料の整理を行った。開発対応では、宇和町坂戸で1件、住宅建設に伴う試掘調査を実施した。</p> <p>【評価・今後の課題・対応方向】 引き続き、詳細分布調査を国庫補助を活用して分布図を作成するなど、包蔵地の把握と周知に努める。また、整理作業を進め、報告書の刊行を目指す。包蔵地における開発事業の対応を通じて、埋蔵文化財の破壊を未然に防ぐ。</p>		11,348
			担当課



市内遺跡詳細分布調査



開発対応の試掘調査

(B表)

事務事業等	①	文化財・文化遺産の保護と活用	
成果指標	設定あり（文化財を見に行っただことのある人の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
俵津文楽市内 巡回公演事業	<p>【事業内容】 市内5箇所において文楽公演を開催する。特に文楽公演の機会が少ない野村・城川地区において開催する。</p> <p>【実績】 平成26年7月26日から11月8日までの間、各会場に多くの観客に来ていただいた。 田之浜公民館100人、高山公民館60人、狩江公民館85人、野村町乙亥会館68人、総合センターしろかわ70人 合計383人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 合併10周年記念事業として実施したもので、乙亥相撲とほぼ同じ歴史を持つ古典芸能である俵津文楽の醍醐味を多くの市民に鑑賞していただき、文楽愛好者を増やすきっかけになったものと思われる。</p>	750	明浜教育課



高山公民館会場の状況



太夫、三味線と初披露の琴

(B表)

事務事業等	②	文化財の継承と次世代を担う人材の育成	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
俵津文楽育成 事業	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である俵津文楽の保存伝承活動の支援（補助金交付）を俵津文楽保存会に対して行う。</p> <p>【実績】 ほぼ例年どおりの公演を実施したが、県合同公演大会については朝立会館建設中により中止となった。 ・野福峠さくらまつり公演 ・大阪朝日カルチャーセンター義太夫教室との合同公演 ・明浜中学校2年生の文楽指導</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 愛媛県最古の文楽がこの地にあることが地域活性化につながり、地域も座員も伝統文化の保存伝承に対する意識が根付いている。補助の在り方について、文化財関係補助金の見直しを含め検討する。</p>	341	明浜 教育課



朝日カルチャーセンター・俵津文楽合同公演会

(B表)

事務事業等	②	文化財の継承と次世代を担う人材の育成	
成果指標	設定なし		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
渡江盆踊り保存事業	<p>【事業内容】 市指定無形民俗文化財である渡江盆踊りの保存伝承活動の支援（補助金交付）を行う。</p> <p>【実績】 毎年8月14日に盆踊り大会を開催した。また、同月に老人ホームへ訪問して日頃の成果を披露した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 補助の在り方について、文化財関係補助金の見直しを含め検討する。</p>	63	明浜教育課



白波五人男



絵本大功記

(B表)

事務事業等	②	文化財の継承と次世代を担う人材の育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
朝日文楽保存 伝承活動事業	<p>【事業内容】 愛媛県指定無形民俗文化財である朝日文楽の保存伝承活動の支援（補助金交付）を朝日文楽保存会に対して行う。また子ども朝日文楽クラブへの指導を年間通じて行う。</p> <p>【実績】 ○定期公演や出前公演の実施 ○人形・衣装等の管理、保存、修理 ○こども朝日文楽クラブ、三瓶高校文楽部の指導による後継者育成により、若い後継者が増えつつある。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 朝立会館の完成により、増々の披露の場づくりを積極的に展開し、保存会員の確保を図るとともに、今後も後継者の育成に努める等、中長期的に対策を講じることが重要である。また、人形・衣装等の修繕には経費がかかることから、保存会でも綿密な修理計画が必要である。 補助の在り方については、文化財関係補助金の見直しを含め検討する。</p>		592	三瓶 教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
文化財を見に行ったことのある人の割合		70.9%	75.0%	74.1%	3.2%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価		現状値から3.2%増加。毎回安定して、市民の7割以上が文化財を見に行ったことがあると回答している。順調といえるが、引き続き、講演会の実施、活用事業の開催、関連マップやパンフレットの作成など文化財の魅力を周知する努力が必要である。	

(A表)

施策	2	文化の振興
評価	概ね順調	
評価に対する分析	<p>伝統芸能をはじめ文化活動の取組は、高齢化や後継者不足など直面する課題が多い。一方でこれまで行政主体で進められてきた取組は、実行委員会形式等で市民が主体的に関わるべきという意識の芽生えも実感できるようになった。今後は、市民が幅広く文化に親しむことができるような環境を充実させていくことが、文化振興や課題解決にもつながっていくはずである。</p>	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価
(B表)

事務事業等	②	芸術文化、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
ふるさと芸能祭補助事業	<p>【事業内容】 文化協会に加盟する団体で組織する実行委員会主催で、宇和地区の芸能発表、伝統芸能の発表を行う。</p> <p>【実績】 11月2日（日）、宇和文化会館において実施。18団体の発表があった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 ほぼ例年とおりの芸能祭となった。徐々にではあるが、実行委員会による自主的な運営の形が整いつつある。継続可能な形に転換していくことと、内容の充実を図ることが今後の課題である。つまり、若い世代の参加増、観覧者が求める発表、市民への文化の魅力発信が必要である。前二者では、従来の参加枠にとらわれず、試験的に若い世代の参加を促したい。後者においては、市文化協会が10周年記念事業で実施した地域文化体験教室を参考にしたい。</p>		442	文化 体育 振興



ふるさと芸能祭（お伊ネ太鼓）



ふるさと芸能祭（レイ、アロハ、マイレ）

(B表)

事務事業等	②	芸術文化、生活文化の振興	
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
奥伊予ふるさと祭り補助事業	<p>【事業内容】 毎年11月に開催する「奥伊予ふるさと祭」は、城川町の年に一度の産業と文化の祭りであり、地域活性化にもつながるイベントとなっている。総合センターしろかわを中心に商工会や農協等のエリア内で、2日間開催している。</p> <p>【実績】 平成26年度の奥伊予ふるさと祭り実行委員会の参加団体数は、27団体になった。メイン会場である総合センターしろかわでの催しは、1日目は遊子川地区が作成した映画「食堂ゆすかわ」の上映会や明浜町の県指定無形民俗文化財「俵津文楽」の公演、2日目は文化協会の発表会を開催した。また、産業展や各種団体でも特色ある展示やイベントを開催した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 47回継続してきた奥伊予ふるさと祭であり、マンネリ化しないよう毎年開催イベントなども工夫を凝らしてはいるが、少子高齢化も進む中、入込客も減少傾向にある。従来の2日間の開催を1日に集約してはどうかという意見も出ているが、1日では中途半端だという意見もあり、課題解決に向け検討する。</p>	700	城川教育課



奥伊予ふるさと祭り芸能発表会

(B表)

事務事業等	②	芸術文化、生活文化の振興	
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
宮中雲子音楽祭補助事業	<p>【事業内容】 平成10年度から当市出身の詩人宮中雲子先生の第8回サトウハチロー賞受賞を記念して、合唱コンクールとして開催し今年度で17回目を数える。コンクール部門（少年少女の部・一般の部）及びフェスティバル部門（無審査、講評有）で構成し、市内外からの参加者を募っている。</p> <p>【実績】 県内外の高いレベルの団体の参加により、本市の音楽レベルの向上と豊かな心の醸成が図られるとともに、県内外で人気のある音楽祭となっている。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 県内外で人気のある音楽祭となっており、その場を本市が提供しているということで、更なる市のイメージアップに繋がっていく。</p>	2,100	三瓶教育課



地元小学生による合唱

(B表)

事務事業等	②	芸術文化、生活文化の振興	
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
全国「かまぼこ板の絵」展覧会事業	<p>【事業内容】 全国にかまぼこ板に描いた絵を公募し、応募のあった作品から入選作品を選考するとともに、7月19日から12月7日まで第20回全国「かまぼこ板の絵」展覧会をギャラリーしろかわで開催し、応募のあった全作品を館内に展示する。</p> <p>【実績】 全国47都道府県及び海外はネパール・台湾から応募あり、17,809人から9,502点の作品が寄せられた。 122日の展覧会期間中、入館者は8,256人。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 マンネリ化しないよう毎年展示には工夫を凝らしているものの、応募点数が少し減少した。高齢化等による応募常連者の不参加もあるが、公募の前後に改修工事のため4か月館臨時休館していたことも要因にあると思われる。 第20回の節目を迎え、いままで応募いただいていた方を大切にすることはもとより、新たに応募者を増やすよう努めたい。西予市内からの応募者を増やし、かまぼこ板の絵といえば西予市となるよう文化定着に努めたい。</p>	14,182	城川教育課



第20回全国「かまぼこ板の絵」展覧会

(B表)

事務事業等	②	芸術文化、生活文化の振興		
成果指標	設定あり（芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
三瓶文化会館 自主運営事業 (イベント)	<p>【事業内容】 市民の教養を深め、文化にふれる機会づくりに、年間2、3本の芸能・文化公演や講演会等の自主事業を実施する。平成20年度からは一般財団法人宇和文化会館に委託をしている。</p> <p>【実績】 ○8/10稲川淳二の怪談ナイト 入場者数268人 ○2/28斎藤有太L I V E 入場者数235人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 宇和文化会館や近隣市町での同様事業の影響もあり、三瓶地区住民の関心や出足は鈍いことから、来年度以降については事業本数の減など抜本的な見直しと本事業の在り方について検討し、方向付けを早急に行う。</p>		4,100	三瓶教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
芸術文化活動等に取り組んでいる市民の割合		17.9%	20.0%	15.3%	-2.6%
達成状況	C：達成に向けて予定よりやや遅れている	分析・評価	前々回からは0.7%増も前回から2.6%減。ここ数年、約15~18%ほどで推移しており、おおむね安定しているが、新たな世代の参加を促す工夫が求められる。		

(A表)

施策	3	文化活動の環境と基盤の整備
評価	順調	
評価に対する分析	宇和文化会館の空調機器・音響照明設備及びギャラリーしらかわの空調設備等の改修により施設が改善され、利用者が安心して文化活動に取り組む環境を整えることができた。施設の利便性が高まり、利用者の増加につながると思われる。今後も改修計画を立て緊急性の高いものから計画的に整備を進めていく必要がある。	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
俵津文楽会館 管理運営事業	<p>【事業内容】 俵津文楽保存会の公演や練習の拠点となる俵津文楽会館のハード面の管理運営事業である。</p> <p>【実績】 利用状況については、年間89日、1,910人が利用した。 平成26年3月14日発生の伊予灘地震により、棟瓦の崩落があり改修工事を実施した。（4,158千円）</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 本年度は屋根改修工事の発生により事業費が激増した。 今後は、道具や衣装などの収蔵庫の整備が急務であり、計画的な修繕に努める。</p>		4,622	明浜教育課

(B表)

事務事業等	①	文化施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
明浜歴史民俗 資料館管理運 営事業	<p>【事業内容】 本施設は昭和53年度に開館し、平成3年度に現在の地に新築移転した。展示資料は明浜町内で発見された弥生期の石斧をはじめ宇和海漁労用具、船舶用具、魚貝標本をメインとし、石灰採石用具類など各分野にわたって資料を展示している。本年10月から明浜中学校人権資料室で展示していた塔和子さんの資料を移設展示した。</p> <p>【実績】 平成26年度の入館者は203人。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 本年度から開館日は休日のみとし、平日については予約により明浜教育課が対応することとしたためコスト削減につながった。 塔和子展示室を新設したが前年度を上回る入館者数とはならなかった。今後ともマスコミも活用しPRに努める。</p>		1,291	明浜教育課

(B表)

事務事業等	①	文化施設の整備・充実	
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)
宇和文化会館 管理運営事業	<p>【事業内容】 平成3年12月に開館後、財団法人宇和文化会館が管理受諾、平成18度からの指定管理者制度移行後も、同法人が引き続き（平成24年度途中に一般財団法人に移行）管理している。この指定管理者に対して、会館管理運営委託料及び施設の大規模改修に伴う費用支出を行うもので、平成26年度は25年度繰越の改修工事等も実施する。</p> <p>【実績】 舞台照明改修・音響機器等備品購入（平成25年度繰越）を執行し、老朽化した機器のデジタル化への更新ができた。また空調機器の改修により設備老朽化による不具合の解消につながった。平成26年度は5つの自主事業と、10の共催事業を実施し14,993人を集客できた。貸館利用では年間856件、34,234人の利用促進につながった。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 中長期修繕計画に基づき施設整備は進んでおり、利用者の利便性は高まっている。文化事業も鑑賞型をはじめ、市民参加型事業も積極的に展開し定着している。今後はトイレの洋式化等を含めた建物の改修計画により安全・安心を確保しながら利用者の増加につなげる。</p>		91,640
			文化体育振興課



音響操作卓(デジタルミキサー) の操作検査



デジタル調光操作卓の導入

(B表)

事務事業等	①	文化施設の整備・充実	
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
ギャラリーしろかわ管理運営事業	<p>【事業内容】 平成26年4月～7月通常の企画展及び常設展、7月～12月は第20回全国「かまぼこ板の絵」展覧会を開催した。12月～3月は展示替え及び改修工事（4ヵ月臨時休館）を実施した。</p> <p>【実績】 平成26年度の入館者は9,895人。 ○改修工事の主な内容 ・空調設備の室内機及び室外機の更新 ・照明器具のLED化 ・展示室の壁塗装及びタイルカーペット一部更新 ・施設周辺の踏み石等の補修 ・トイレ洗浄便座導入 ・ホール内壁のタイル落下防止加工</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 今回の改修工事に合わせ屋根瓦の点検も行き、一部劣化も見られた。長期ビジョンと施設のメンテナンスを計画的に提案していき、施設の維持管理に努める。</p>	83,682	城川教育課

(B表)

事務事業等	①	文化施設の整備・充実	
成果指標	設定あり（施設や展示物の満足度）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
城川歴史民俗資料館管理運営事業	<p>【事業内容】 資料館の管理は、文書館の嘱託職員が兼務で行っているため、人件費は発生していない。当館には、貴重な文化財や民俗資料、さらに縄文時代の遺跡から出土した考古学上きわめて重要な資料を保存・展示している。</p> <p>【実績】 平成26年度の入込者数は479人で、子どもたちの学習のための見学については入館料の減免措置を行った。そのほか考古資料は、愛媛県歴史文化博物館に貸し出しをしたり、考古学研究者の貴重な資料としても活用できた。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 近年の社会構造の急激な変化の中、貴重な資料を保存・整理しているが、施設の老朽化が著しい上（昭和56年度開設）、専門的人材の不足もあって展示が更新できていない。今後は、計画的な展示の見直しや施設の修繕等について検討する。</p>	193	城川教育課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
施設や展示物の満足度		23.8%	25.0%	25.5%	1.7%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価	満足度は現状値から1.7%増となり、目標値に達した。さらなる事業の内容精査や館の利便性を高め、接遇への対応など、稼働率や集客率を上げる工夫や努力も必要である。		

(A表)

施策	4	西予市の特色を生かした文化施策の推進
評価	概ね順調	
評価に対する分析	宇和盆地を中心に多数存在する遺跡や考古資料を調査、整備、活用するなどして、地域の深い理解につなげる。単独実施以外にも周辺市町との連携など、様々な形で活用事業に取り組んでおり注目度も高い（H27年度は岐阜県大垣市での古墳サミットに招待）。一方で、活用や学習の拠点となる展示施設がないことは大きな課題である。他の公共施設、文化施設の動向を見ながらにはなるが、拠点施設整備の議論を進める必要がある。	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	古代ロマンの里構想の推進		
成果指標	設定あり（古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
古代ロマンの里推進事業	<p>【事業内容】 『古代ロマンの里整備活用基本計画』に基づき構想を推進する。また、愛媛県の歴史の道調査や詳細構想に基づく笠置街道の保護や周辺の文化財の把握、総合的な活用に努める。</p> <p>【実績】 国庫補助を活用し、駅からウォークや遺跡めぐり、教材づくり（遺跡パンフレット）などを行った。また、北宇和郡鬼北町、大洲市と連携し、弥生時代の石斧づくり体験や伐採実験を行ったほか、鬼北町興野々寺山遺跡における竪穴住居復元プロジェクトに参加した。また、ナルタキ古墳群周辺の里山環境創出をめざし、立木の間伐を行った。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 笠置峠古墳の発掘調査報告書が未刊であり、平成28年度の刊行を目指す。</p>		6,318	文化体育振興課



駅からウォーク



弥生時代の石斧づくり体験

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
古代ロマンの里が歴史・文化・自然・景観の保護意識向上に役に立っていると感じる市民の割合		71.8%	75.0%	71.1%	-0.7%
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	<p>前回より0.7%減。活用事業等で採ったアンケートでは、埋蔵文化財を活用した事業を積極的に実施して欲しいという声は多く、また同様の事業に参加したいという声が大半である（駅からウォーク：「また参加したい」95.8%）。内容についても好評であった。</p>		

重点目標 4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

(A表)

施策	1	スポーツの振興
評価	概ね順調	
評価に対する分析	<p>各町単位で総合型スポーツクラブの設立を目標にし、スポーツ人口の増加を目指していたが、体育協会各支部で地域性を活かした活動ができていることや、新たな組織の設立でこれまでなかった役職が発生し、住民負担が生じることから現状としては困難である。</p> <p>今後は、いま以上の体育協会やスポーツ推進委員協議会の連携により、スポーツに親しむ市民の増加を目指したい。また、スポーツに対する意識を高めて、スポーツ活動を定着化させることで健康増進につなげたい。</p>	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
市スポーツ推進委員活動事業	<p>【事業内容】 西予市教育委員会並びに県教育委員会管内の体育行事の運営協力に努める。スポーツ推進委員の資質向上のため各種研修会に参加する。</p> <p>【実績】 平成26年度実績は以下のとおりである。 <ul style="list-style-type: none"> ・愛媛県スポーツ推進委員協議会研修会 8人参加 ・四国地区スポーツ推進委員研修会 7人参加 ・八幡浜地区管内研修会 10人参加 </p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 西予市スポーツ推進委員としての活動計画に沿って、イベント運営・補助、各種研修会に参加した。それに加え、各スポーツ推進委員の地元イベントへの協力を行った。一部の委員においては、地元イベントの協力のみにとどまっており、他の委員との温度差が多少あり、この課題の解消に努めたい。</p>		1,234	文化体育振興課

(B表)

事務事業等	①	生涯スポーツの普及と活動支援	
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
総合型スポーツクラブ補助事業	<p>【事業内容】 西予市総合型地域スポーツクラブ育成振興補助金交付要綱に基づき、総合型スポーツクラブ活動支援のため補助金を交付する。</p> <p>【実績】 平成26年度実績は以下のとおりである。 ・みかめスポーツクラブ 50千円 ・のむらスポーツクラブ 344千円 ・文化の里スポーツクラブ 50千円</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 各クラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指すことが今後の課題である。また、平成27年度ですべてのクラブがt o t oスポーツ振興くじ助成期間が終了するため、健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制の構築が必要である。</p>	444	文化体育振興課

(B表)

事務事業等	①	生涯スポーツの普及と活動支援	
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）		
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課
スポーツ教室開催事業	<p>【事業内容】 スポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体のPR活動を進める。</p> <p>【実績】 今年度は、コーディネーショントレーニングを主としたスポーツ教室を年7回、伊予銀行女子ソフトボール部を講師に招いたソフトボール教室を1回実施した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を学ぶ教室を開催し、親子が体験しながら学び、また、指導者が今までとは違った指導方法を学ぶことができた。 ソフトボール教室では、日本リーグ1部に所属するチームの全国トップレベルの技術を見ながら指導を受けたことにより、市内の競技団体の指導力の向上・チームの技術向上に繋がった。 今後も教室開催のたびにえひめ国体グッズやチラシの配布・掲示・説明をすることで、えひめ国体西予市開催のPRにつなげたい。</p>	1,447	文化体育振興課



コーディネーショントレーニングの様子



ソフトボール教室の様子

(B表)

事務事業等	①	生涯スポーツの普及と活動支援		
成果指標	設定あり（市民の週1回以上のスポーツ人口率）			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
全国大会出場 選手支援事業	<p>【事業内容】 県予選等を経て全国大会へ出場する選手へ15千円、国体・国際大会へ出場する選手等へ20千円（団体競技の場合は上限300千円）の報奨金を交付する。また、高校生以下の選手には、懸垂幕も作成・掲出し市民に周知する。</p> <p>【実績】 平成26年度実績は以下のとおりである。 ・懸垂幕22本 報奨金164人</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 全国大会出場選手の情報がつかめない場合があり、事後申請となる場合がある。また、インターハイ・国体等の出場選手が近年増加し、懸垂幕の掲出場所の関係で連名となり、出場選手数の予測が困難なこともあるため、今後はこれら対応の解消に努めたい。</p>		3,356	文化 体育 振興 課

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
市民の週1回以上のスポーツ人口率		26.0%	50.0%	29.4%	3.4%
達成状況	A：達成に向けて予定どおり進行している	分析・評価 各町単位で総合型スポーツクラブの設立を目標にし、スポーツ人口の増加を目指していたが、キーパーソンとなる人物が体協と重複し、現状としては困難であるが成果指標は概ね6割達成。今後は、今以上の体育協会やスポーツ推進委員協議会の連携によりスポーツに親しむ市民の増加を目指したい。			

(A表)

施策	2	えひめ国体の推進
評価	概ね順調	
評価に対する分析	<p>2017えひめ国体の西予市開催に向けて、その開催会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備するために、平成26年度から着工し平成28年度に開催するリハーサル大会(7月開催)までには完成できる工程で進んでいる。</p> <p>また、西予市で開催が決定している競技(2種目:相撲・ソフトボール成年女子)の支援に努めることができた。</p>	

☆施策を推進する主な取組みの点検・評価

(B表)

事務事業等	①	競技スポーツの振興と人材育成		
成果指標	設定なし			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向	決算額 (千円)	担当課	
愛媛国体競技 役員等養成事 業	<p>【事業内容】 西予市で開催が決定している種目の競技運営上必要不可欠である審判員・記録員を西予市で養成する必要があるため、市内競技団体へ養成を依頼する。</p> <p>【実績】 ○ソフトボール競技(西予市ソフトボール協会に委託)では、資格取得に必要な講習会等に参加し、試験により合格した審判員5人(第1種審判員)記録員5人(第1種記録員4人・第2種記録員1人)計10人が資格を取得した。 ○相撲競技(野村相撲クラブに委託)では、公認審判員に必要な段位を、6人(5段取得者1人・4段取得者4人・3段取得者1人)が取得した。 ○2競技合わせて、16人が資格を取得した。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 今後更に上位の資格取得を目指すとともに、来年行われる国体リハーサル大会・再来年の国体本大会で実際に審判記録ができる審判員・記録員の養成、資質向上が課題である。 このため、引き続き両団体への支援に努めたい。</p>	645	文化 体育 振興課 国民 体育 大会 推進室	

(B表)

事務事業等	②	関係施設の整備・充実		
成果指標	設定あり（国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数））			
取組事業	事業内容/実績/評価と今後の課題・対応方向		決算額 (千円)	担当課
愛媛国体施設 整備事業	<p>【事業内容】 2017えひめ国体において西予市で2競技の開催が決定しており、その開催会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備する。</p> <p>【実績】 平成26年度からソフトボール競技会場である西予市宇和運動公園・御旅公園（宇和球場）の整備に着手した。平成28年度にはリハーサル大会が開催されることから西予市運動公園は平成28年3月、御旅公園（宇和球場）は同年6月の完成を予定している。</p> <p>【評価と今後の課題・対応方向】 現在改修中の西予市宇和運動公園及び御旅公園（宇和球場）については、南予地域の拠点として主要な大会が開催できる整備内容となっており、施設の利用者数及び充足度の増が期待できる。 相撲競技会場である乙亥会館については、平成28年度から施設の改修を実施する。</p>		251,161	文化体育振興課 国民体育大会推進室



宇和運動公園多目的広場 整備状況



御旅公園(宇和球場) 整備状況

(C表)

成果指標		基準値 (A)	目標値	実績値 (B)	増減 (B) - (A)
		平成24年度	平成30年度	平成26年度	
国体開催を通して、市民の利便性が向上する施設整備（整備済施設数）		0	3	0	0
達成状況	B：達成に向けて概ね予定どおり進行している	分析・評価	整備は概ね工程どおり進捗しているが、工期を複数年度に分けていることにより施設が部分完成となっており、成果指標に対する実績を挙げるができない。		

V 学識経験者の意見（今後の取組の方向性）

1 学識経験者の意見及び担当課による今後の取組の方向性

1 「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進

①社会給ががりで取り組む教育の推進

【学識経験者の意見】

国際化が進む時代の中で、語学の習得や異文化・習慣に肌で触れることは子どもたちの成長には貴重な体験である。事業が継続的に実施できていることは評価できる。参加していない子どもたちへの波及効果が少ないと感じる。今後は、帰国後の研修報告の取組など工夫して事業の効果が波及するように取り組んでいただきたい。（生徒国際交流事業）

＜今後の取組の方向性＞

平成28年度はニュージーランドからタラデアールハイスクールの生徒が訪問予定であり、ホームステイでの受け入れを行うこととしている。また、交流授業の実施により、多くの生徒が関わることが出来ると考えている。派遣の事業だけではなく受け入れ事業も行うことで、継続できる相互交流を実施したい。

今後は、各中学校文化祭等での研修報告を行うことで、ほかの生徒への国際的な意識の高揚につながるよう努めたい。

②確かな学力、豊かな心、健やかな体を育てる教育の推進

【学識経験者の意見】

子どもたちの健やかな成長のために栄養バランスのとれた学校給食の提供や健康管理ができていくことについて評価できる。（学校給食庶務事業、児童、生徒健康安全管理事業）

＜今後の取組の方向性＞

今後、地域で生産した食材を生かした献立の割合を増やし、児童生徒や保護者の食育に関する興味・関心を高め、食に関する正しい理解と望ましい食習慣を身につけさせるとともに、児童生徒の健康の保持増進を図り豊かな人間性を育みたい。

③特別支援教育、人権・同和教育の推進

【学識経験者の意見】

児童生徒の保護者、学校ニーズにあった支援員の配置ができており評価できる。しかし、学習支援の配置は対応できていない状況であり、今後有効な取組の検討に努められたい。（小学校、中学校生活支援員設置事業）

＜今後の取組の方向性＞

現在40名の非常勤職員を雇用し、学校生活の支援をしている。

現在の学校生活支援員の職務として、

- ① 基本的な生活習慣確立のための日常生活上の介助
- ② 発達障害の児童生徒に対する学習支援
- ③ 学習活動、教室間移動等における介助

- ④ 児童生徒の健康・安全確保関係
- ⑤ 運動会（体育大会）、学習発表会、修学旅行等の学校行事における介助等を行っている。

②の「学習支援」とは、以下の内容である。

- ・教室を飛び出して行く児童生徒に対して、安全確保や居場所の確認を行う。
- ・読むことに困難を示す児童生徒に対しての介助
- ・書くことに困難を示す児童生徒に対しての介助
- ・聞くことに困難を示す児童生徒に対して教員の話の繰り返して聞かせる。
- ・学用品など自分の持ち物の把握が困難な児童生徒に対して整理場所を教える等の介助

一方、学校ニーズの「学習支援」は、児童生徒の学習のつまづき等を指導する「学習指導」を指していると考えられる。この指導を行うには、教員免許状が必要であり、また、国の免許更新制度により、10年の有効期限の更新が必須となる。このため、学校生活支援員のように1対1の対応ではなく、学校に配置して時間割りや教科ごとに教室を移動するなど、学習理解の困難な児童生徒の指導に当たる人材を確保したいが、まずは学校生活を支援することを優先していきたい。

④安全・安心な学校づくりの推進

【学識経験者の意見】

近年、全国的に児童生徒に対する事件が発生している。市内において発生する事案等について速やかな情報発信とともに、学校と地域が連携した取組ができるよう努められたい。（不審者情報メール発信事業）

<今後の取組の方向性>

市内において発生する事案等について適時・即時情報発信を継続したい。

児童生徒の安全確保については、地域の見守り隊や青パト隊などのボランティアとの連携強化をさらに図りたい。また、各中学校区に組織されている児童生徒を守り育てる協議会の活動の活発化を図るとともに市内の情報を共有し、安全確保に役立てたい。

⑤よりよい教育環境づくりの充実

【学識経験者の意見】

統合に係る校舎建設について、建設事業が計画的に進められており評価できる。一方、全国では学校施設内で事故も発生しているため、児童生徒が安心安全に過ごせる学校施設となるよう施設修繕、整備に努められたい。（小、中学校施設修繕事業）

児童がよりよい環境で教育が受けることができるよう小学校再編が推進されており、明浜地区及び野村地区の統合が終了したことは評価できる。平成27年度の城川地区及び今後の宇和地区で、理解を深めていただくため保護者、地域住民、PTA等に引き続き十分な説明をして協議を進められたい。（学校再編推進事業）

<今後の取組の方向性>

（小、中学校施設修繕事業）

宇和地区小学校施設は宇和町小学校を除き30年以上経過し、老朽化が進んでいる。ま

た、市内中学校施設も5校の内3校が30年以上経過している。近年、屋上防水の劣化による雨漏りが発生する案件も多くあり、計画的な修繕を行うため施設点検を実施した。引き続き、年1回の施設点検を定期的実施し、安心安全な学校施設となるよう修繕・整備に努めたい。

(学校再編推進事業)

城川地区においては、平成28年4月1日城川小学校開校に向けて継続的に協議をしており、体操服やスクールバス等の調整、新しい校歌の選定を行っている。

宇和地区においては、平成27年10月から各小学校で保護者説明会を開催し、西予市小学校再編計画への理解を求めていく予定である。再編計画に基づく明間小学校と皆田小学校の段階統合に向け調整を進め、明間小学校で生じている複式学級をできるだけ早く解消し、子どもたちにとって、より良い教育環境が整備できるよう努めたい。

2 ライフステージに応じた社会教育の推進

①公民館活動の推進

【学識経験者の意見】

公民館は各地域における社会教育・生涯学習の活動拠点であり、それぞれ特色ある取組が実施され評価できる。今後も地域ニーズにあった取組を推進するとともに、地域コミュニティ形成への積極的な参画など、行政部局と連携して、住民と行政が協働して進める「地域づくり交付金事業」の活用や支援の充実に努められたい。小学校再編も進んでいる中、地域の活動拠点である公民館の在り方の検討や活動の推進と充実に引き続き努められたい。

市内には多くの社会教育施設がある。しかし、耐震化できていない施設もあるため、住民が安心安全に施設を利用できるように、改修計画を立て緊急性の高いものから計画的な整備に努められたい。

<今後の取組の方向性>

公民館は地域住民の活動拠点であり、地域に応じた取組を継続するとともに、一人ひとりの住民が生活や地域課題の取組に参画できるよう推進したい。

なお、地域を取り巻く社会環境が急速に変化する中、公民館に求められる役割は大きく変化してきていると認識している。地域によっては社会教育の域を超えて、地域づくりに積極的に関与することも求められるようになってきている。公民館は、社会教育推進の施設という位置付けであると同時に、地域住民にとって一番身近な行政機関となっている。

また、社会環境の変化に対応し、求められる役割を果たしていく施設への「転換の時期」に来ていると考えており、そのため公民館の在り方を検討する庁内検討委員会を発足させ協議を進めたい。

施設の耐震化については、平成24年度に策定された「西予市公共施設耐震化計画」に基づき、耐震診断・補強設計及び耐震化工事を進めており、今後の公民館の在り方の検討も踏まえながら、計画的な耐震化に努めたい。

②心豊かでたくましい青少年の育成

【学識経験者の意見】

補導センターでは、青少年補導員の定期的な街頭指導や各地区行事での補導活動が実施されて非行防止につながっており、その取組を評価できる。

青少年を取り巻く環境は年々変化しており、特にインターネットや携帯電話の利用等について指導に取り組んでいただきたい。(青少年補導センター運営事業)

第26回の開催を迎えたアドベンチャースクール事業について、長期にわたる取組であり関係者の努力を評価する。西予市の特色である豊かな自然を活用した取組を今後も継続的に努められたい。(アドベンチャースクール事業)

<今後の取組の方向性>

青少年補導員は、青少年が活発に活動する時間帯や犯罪に巻き込まれやすい時間帯に街頭補導活動を実施し、より一層の非行防止と見守り活動を行いたい。

青少年団体や関係機関で構成されている青少年育成協議会では、「西予市共通のきまり」を作成し、インターネットやスマートフォンなど携帯電話の適切な利用について、児童生徒に周知していく。また、PTAなどの関係機関と連携して児童生徒と保護者を対象とした講習会も実施したい。

また、自然体験活動については、子どもたちが参加しやすい体制を考えると共に「四国西予ジオパーク」を取り入れ、関係課と連携して西予の自然、魅力を子どもたちに伝えたい。

③人権・同和教育の推進

【学識経験者の意見】

市内各地で開催している地区別人権学習会開催回数は、目標値を達成しており取組を評価できる。小集落での開催は大切なことだと感じているが、ずっと同じスタイルでの開催であり参加者の固定化などの課題もある。このため、学習会の開催を何かの行事と重ねるなど工夫して参加者の増加につながるよう努められたい。(地区別人権教育懇談会事業)

<今後の取組の方向性>

地区別学習会の参加者については、各地域・地区ではほぼ横ばいの状態となっており大きな課題と考えています。その要因として、無関心、過疎化や高齢化、同和問題のみの学習、推進するリーダーの不足等が考えられる。

今後の取組として、各職域や地域でのリーダー育成、学習内容の工夫とPR、参加しやすい場所の設定など、より小集団での学習会を行う必要がある。さらに開催がない地区や企業には開催の働きかけを行い、市内全地域でさまざまな人権問題を考え、市民が幸福に生活できる社会づくりに努めたい。

④図書館活動の充実

【学識経験者の意見】

図書館システムを使ったサービス業務の充実により、その利用者が増加している取組について評価できる。利用者からの要求に対応できるように業務の効率化に努められたい。(図書館電算システム管理事業)

<今後の取組の方向性>

社会情勢の変化に伴い図書館利用者の要求は複雑かつ多様化しているが、そのニーズに応えるため、コンピュータを駆使した資料データの作成、スピーディーなレファレンスサービス、ホームページを活用した情報提供に努めたい。

さらに、県内外図書館、学校図書館など関連機関との連携を図り、広く資料収集を行い課題解決のサポートが積極的に行えるような体制づくりに努めたい。

3 人生を豊かにする文化芸術の振興

①文化財の保護と活用

【学識経験者の意見】

市指定文化財の調査や修理について、専門家の協力を得ながら引き続き努められたい。
(文化財保護推進事業)

県指定、市指定無形文化財の継承に支援をされており評価できる。引き続き支援をお願いしたい。(俵津文楽育成事業、渡江盆踊り保存事業、朝日文楽保存伝承活動事業)

茶堂は市の貴重な文化財であり茅葺きの形で残していく必要がある。しかし、県内に茅葺き職人が少ないため、県外の職人に葺き替えを依頼している現状がある。このため、茶堂文化を残す考えで、西予市だけでなく四国エリアで職人を育成するようなネットワークなど、将来のビジョンを描いて保存に取り組んでいただきたい。(民俗文化財保存事業(茶堂))

<今後の取組の方向性>

(文化財保護推進事業)

文化財保護推進事業においては、複数ある類似事業を整理したうえで、指定文化財の見直しを図るとともに補助制度を見直し、今後の文化財保護の基盤を整備したい。

(民俗文化財保存事業(茶堂))

茶堂をはじめ茅葺きの建造物を保護するためには、茅などの資材の確保、茅葺き職人などの技能者の育成が必要である。これらの対策については、すでに県・市町連携推進事業で提案しているが、全国茅葺きネットワークや茅葺き屋根の研究者あるいは中四国在住の茅葺き職人などと連携し、産業のひとつとして確立し茅葺きの保存ができないか検討したい。

②芸術文化、生活文化の振興

【学識経験者の意見】

各地区で開催されている文化祭について、いつどのような形で開催されているか住民に周知できていない現状がある。このため、広報誌や防災行政無線等を活用して広く周知に努められたい。また、内容がマンネリ化しているように感じられるため、団体等の固定化の課題もあるが各団体の活性化も図るとともに、各地区それぞれで開催している文化祭の一本化も検討していただきたい。(文化協会補助事業)

<今後の取組の方向性>

文化祭等文化事業全体の推進体制や運営、内容、広報等について全体的に見直しを図り、「いつでも、どこでも、だれでも」文化活動に取り組むことができるような形に転換してい

きたい。具体的には、実行委員会形式の導入や実行委員会の主体的運営、体験事業の増加、市内で一括した広報の実施などを検討したい。また事業の一本化については、市民の発表の場の減少にもつながるため慎重に対応したいが、芸能発表における地域間の交流など内容を充実させる形での取組を検討したい。

③文化活動の環境と基盤の整備

【学識経験者の意見】

宇和文化会館の空調機器・音響照明設備及びギャラリーしろかわの空調設備等の改修により施設が改善され、利用者が安心して文化活動に取り組む環境を整えられており評価できる。今後は、利用者の増加につなげるとともに、施設の改修計画を立て緊急性の高いものから計画的な整備に努められたい。

<今後の取組の方向性>

市内の文化施設全体の在り方を検討し整理統合を図っていききたい。また、公共施設等総合管理計画策定後は計画に基づき、必要な設備の設置や更新を図るなど、施設の長寿命化につなげたい。

さらに文化施設の運営に必要な人材を確保し体制を整備するとともに、施設が所蔵する資料などの整理（再整理含む）、調査研究を進めながら、これまで眠っていた資料に光を当て積極的に活用したい。

④西予市の特色を生かした文化施策の推進

【学識経験者の意見】

『古代ロマンの里整備活用基本計画』に基づき推進された、愛媛県の歴史の道調査や詳細構想に基づく笠置街道の保護や周辺の文化財の把握、また各種事業が展開されていることについて評価できる。引き続き西予市の特色ある文化施策として取り組んでいただきたい。（古代ロマンの里推進事業）

<今後の取組の方向性>

古代ロマンの里構想、町並み保存、文化的景観など、各々の計画に基づき引き続き西予市の特色ある文化施策として取り組みたい。また、四国西予ジオパーク関連事業との連携も行っていきたい。加えて文化財やジオポイント等の調査研究を、大学や博物館等と進め、学術的知見に基づく新たな成果を継起的に獲得し、地域の魅力の向上に役立てるとともに地域に愛着が持てるよう活用したい。

4 健やかな心と体をつくる生涯スポーツの推進

①スポーツの振興

【学識経験者の意見】

各総合型スポーツクラブの魅力ある事業を支援し、クラブ会員の増加を目指されている取組について評価できる。平成 27 年度ですべてのクラブが t o t o スポーツ振興くじ助成期間が終了することに伴い健全で安定的なクラブ運営に向けて支援体制に努められたい。また、未設立の地区においては、引き続き設立できるよう取り組んでいただきたい。（総合型スポーツクラブ補助事業）

県内大会予選を経て、インターハイ・国体等の出場選手が近年増加しており、その選手へ支援されている取組について評価できる。引き続き支援していただきたい。(全国大会出場選手支援事業)

脳を活性化させ、神経系の働きを高めるトレーニング方法である「コーディネーショントレーニング」を学ぶ教室を7回開催され、親子が体験しながら学び、また、指導者が今までとは違った指導方法を学ぶことができている取組について評価できる。引き続きスポーツ教室を開催し、競技スポーツの底辺拡大とえひめ国体のPR活動に努められたい。(スポーツ教室開催事業)

<今後の取組の方向性>

(総合型スポーツクラブ補助事業)

総合型地域スポーツクラブの設立及び支援については、若者の地方での就労を促すとともに、地方への移住・定着を促進する(ひとの創生)取組、また、人と地域の交流による地域の一体感や活力の醸成、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に向けて実施される事業に対する支援を行っていききたい。また、未設立の地区においての総合型地域スポーツクラブの設立については、旧町単位で体協支部が存在し、地域の特性に応じた活動が展開されており、体協支部の活動を考慮しながら設立の可能性を検討し、西予市スポーツ振興計画の見直しと併せて進めたい。

(全国大会出場選手支援事業)

インターハイ・国体等の出場選手の顕彰事業については、全国大会や国際大会での西予市の選手の活躍は、西予市民に誇りと喜び、夢と感動を与え、地域社会に活力を生み出すことから引き続き顕彰と支援を継続したい。

(スポーツ教室開催事業)

コーディネーショントレーニングについては、市内での理解度も上がり、スポーツ教室以外において市内小中学校の体育教科等で取り入れられ効果は上がっている。また、えひめ国体西予市開催競技と連携したスポーツ教室を開催することにより、国体PR及び競技力向上に繋がっている。このことから、引き続き事業を継続したい。

今後は、市内の指導者資質向上を図りながら、コーディネーショントレーニングの学校体育導入を推進し、西予市独自で事業を展開できる仕組みづくりを構築していきたい。

②えひめ国体の推進

【学識経験者の意見】

2017 えひめ国体の西予市開催に向けて、その開催会場となる施設を国体開催基準に適合する施設として整備するために、平成26年度から着工し平成28年度に開催するリハーサル大会(7月開催)までに完成させる工程で進んでいることについて評価できる。また、相撲競技では強化支援等がなされており評価できる。競技役員育成など引き続き支援に努められたい。(愛媛国体施設整備事業・愛媛国体競技役員等養成事業)

平成29年開催のえひめ国体は西予市挙げての取組となるため、市民と連携し万全の体制で望んでいただきたい。

<今後の取組の方向性>

(愛媛国体施設整備事業・愛媛国体競技役員等養成事業)

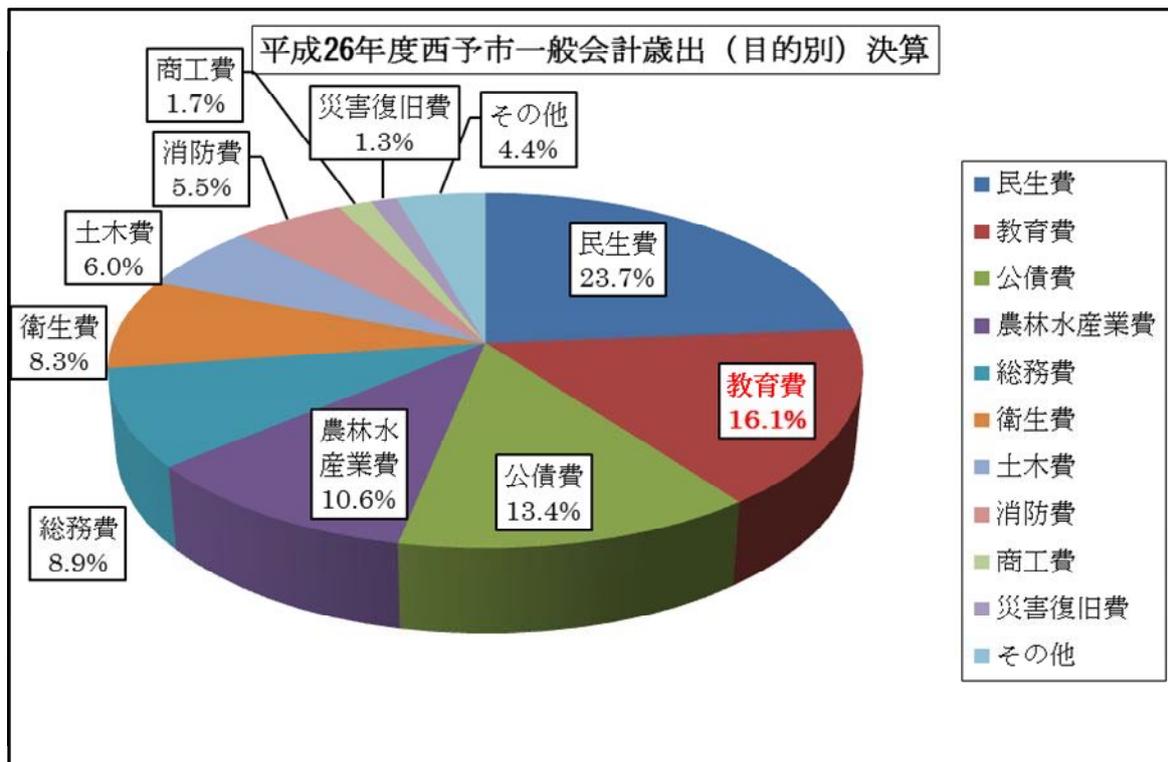
ソフトボール成年女子の競技会場となる西予市宮宇和球場と宇和運動公園多目的広場の完成を目指すとともに、相撲競技会場である乙亥会館の土俵の打ちかえなどの改修工事についても実施したい。国内最大のスポーツ大会である国体で、西予市の選手が活躍することが西予市の知名度アップと市民に活力を与えることになるため、今後も野村高校相撲部の支援を強化・継続したい。また、競技役員の養成については、公認審判員及び記録員の有資格者を有することにより、国体の開催はもとより、全国規模の大会の開催・誘致が可能となることから今後も競技役員養成に努めたい。

さらに国体の開催においては、多数の補助員、ボランティアスタッフが必要であり、市民の参加・協力を得るとともに、花いっぱい運動や地域美化活動を推進し、市民総参加により全国から集まる監督・選手・来訪者をもてなす準備を進めたい。

VI 参考資料

1 平成26年度一般会計歳出決算における教育予算の実施状況

(図-1)



【平成26年度歳出決算の目的別集計】(表-1)

単位：千円

民生費	6,694,263	23.7%
教育費	4,557,149	16.1%
公債費	3,772,377	13.4%
農林水産業費	3,007,839	10.6%
総務費	2,505,068	8.9%
衛生費	2,347,649	8.3%
土木費	1,707,836	6.0%
消防費	1,565,389	5.5%
商工費	471,194	1.7%
災害復旧費	367,519	1.3%
その他	1,247,337	4.4%
合計	28,243,620	100.0%

その他内訳	1,247,337	4.4%
諸支出金	1,013,744	3.6%
労働費	26,254	0.1%
議会費	207,339	0.7%
予備費	0	0.0%

平成26年度一般会計決算額は、28,243,620千円で、前年度の27,151,536千円と比較し、1,092,084千円(4.0%)の増となっています。その主な要因は、衛生費で汚泥再生処理整備事業費の増、教育費で野村地域教育複合施設建設事業費、愛媛国体施設整備事業費の増によるものです。

【歳出の目的別決算比較】（表－２）

単位：千円

科目	年度	平成26年度		平成25年度		増減額 C = A - B	増減率 C / B
		決算額 (A)	構成比	決算額 (B)	構成比		
1 議会費		207,339	0.7%	205,193	0.8%	2,146	1.0%
2 総務費		2,505,068	8.9%	2,379,054	8.8%	126,014	5.3%
3 民生費		6,694,263	23.7%	6,214,552	22.9%	479,711	7.7%
4 衛生費		2,347,649	8.3%	1,897,183	7.0%	450,466	23.7%
5 労働費		26,254	0.1%	494,458	1.8%	△468,204	△94.7%
6 農林水産業費		3,007,839	10.6%	3,082,481	11.4%	△74,642	△2.4%
7 商工費		471,194	1.7%	440,907	1.6%	30,287	6.9%
8 土木費		1,707,836	6.0%	1,902,308	7.0%	△194,472	△10.2%
9 消防費		1,565,389	5.5%	1,452,345	5.3%	113,044	7.8%
10 教育費		4,557,149	16.1%	3,512,882	12.9%	1,044,267	29.7%
11 災害復旧費		367,519	1.3%	240,467	0.9%	127,052	52.8%
12 公債費		3,772,377	13.4%	3,708,938	13.7%	63,439	1.7%
13 諸支出金		1,013,744	3.6%	1,620,768	5.9%	△607,024	△37.5%

目的別決算額では、民生費が6,694,263千円(23.7%)、公債費3,772,377千円(13.4%)、教育費が4,557,149千円(16.1%)、農林水産業費3,007,839千円(10.6%)で、これらの合計が歳出の6割以上を占めています。

次に、平成26年度西予市一般会計歳出決算における教育費は表－１、表－２のとおり、4,557,149千円(16.1%)で平成25年度3,512,882千円(12.9%)と比較し、1,044,267千円(29.7%)増の大きな伸びとなっています。

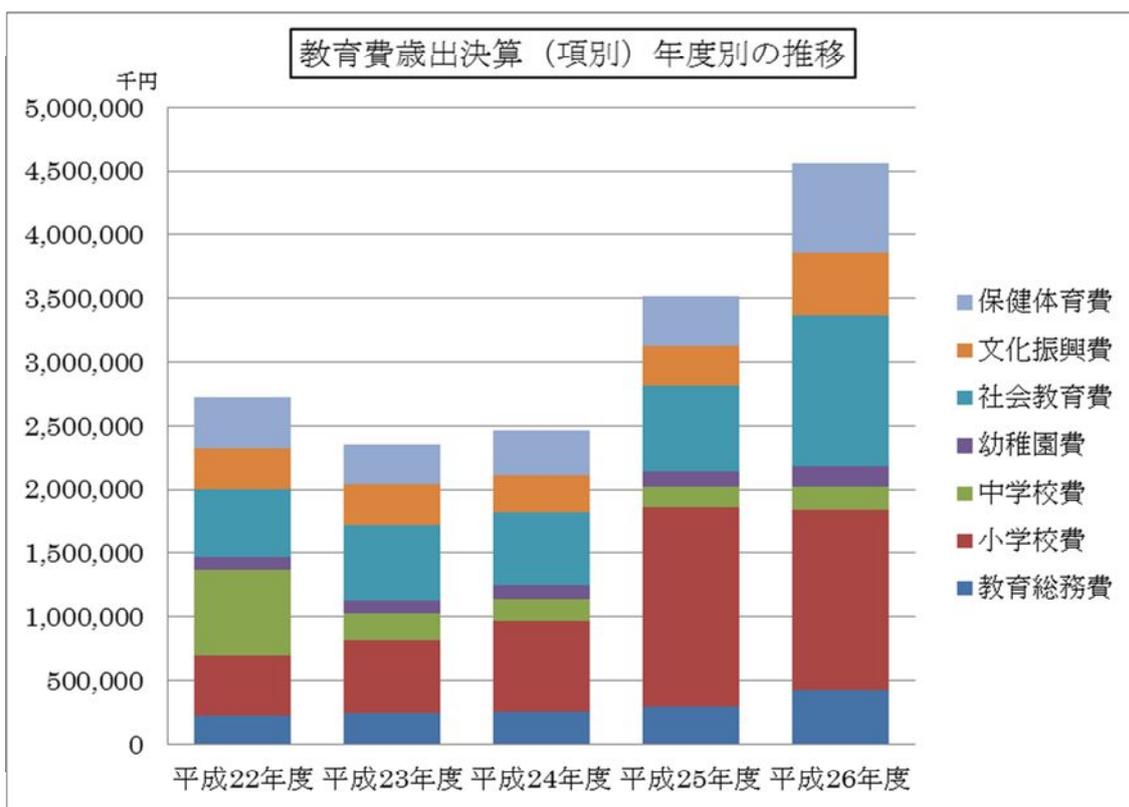
主な要因として、小学校費の学校建設等の大型事業や社会教育費の野村地域教育福祉複合施設整備事業、保健体育費の愛媛国体施設整備事業の実施によるものです。

【教育費項別年度別歳出決算額】（表－３）

単位：千円

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度	
教育総務費	219,613	8.1%	245,881	10.5%	252,277	10.2%	292,394	8.3%	422,989	9.3%
小学校費	480,364	17.6%	572,724	24.4%	716,265	29.0%	1,568,299	44.6%	1,412,627	31.0%
中学校費	669,304	24.5%	206,143	8.8%	168,265	6.8%	160,959	4.6%	180,986	4.0%
幼稚園費	102,579	3.8%	105,216	4.5%	110,545	4.5%	121,583	3.5%	167,971	3.7%
社会教育費	530,925	19.5%	584,730	24.9%	568,453	23.0%	665,518	18.9%	1,179,428	25.9%
文化振興費	315,703	11.6%	325,226	13.8%	295,557	12.0%	319,748	9.1%	494,690	10.9%
保健体育費	408,835	15.0%	309,568	13.2%	355,546	14.4%	384,381	10.9%	698,458	15.3%
計	2,727,323	100%	2,349,488	100%	2,466,908	100%	3,512,882	100%	4,557,149	100%

(図-2)



教育費における項別決算額は表-3、図-2のとおり、社会教育費及び保健体育費が大幅な増に推移しています。

項別の主な事業内容は、1項教育総務費では学校再編推進事業 117,407 千円、教育委員会事務局運営事業 7,045 千円、生徒国際交流事業 12,573 千円、語学指導外国青年招致事業 20,892 千円、2項小学校費では明浜地区小学校統合校舎建設事業 676,388 千円、野村小学校南校舎改築事業 403,148 千円、3項中学校費では、野村中寄宿舎維持管理事業 8,961 千円、中学校各種大会出場補助事業 9,279 千円、4項幼稚園費では、公立幼稚園維持管理事業 1,522 千円、幼稚園施設整備事業 44,506 千円、5項社会教育費では、野村地域教育福祉複合施設建設事業 551,226 千円、市誌編纂・発刊事業 12,863 千円、図書館電算システム管理事業 1,524 千円、6項文化振興費では、朝日文楽会館建設事業 49,466 千円、民俗文化財保存事業（茶堂）1,000 千円、古代ロマンの里推進事業 6,318 千円、埋蔵文化財発掘調査事業 11,348 千円、7項保健体育費では、全国大会出場選手支援事業 3,356 千円、愛媛国体施設整備事業 251,161 千円などです。

なお、平成27年度への教育費繰越事業費（507,216 千円）の主な内訳は、社会教育費の公民館耐震化事業 5,137 千円、文化振興費の朝日文楽会館建設事業 368,716 千円、保健体育費の愛媛国体施設整備事業（宇和運動公園）52,366 千円などです。



西予市教育委員会

〒797-8501 西予市宇和町卯之町三丁目 434 番地 1

Tel : 0894-62-6430 (教育総務課) Fax : 0894-62-6584

E-mail : kyouikusoumu@city.seiyo.ehime.jp